

須崎市小中学校統合計画説明会での意見・質問と回答内容

No	発言内容	回答内容
1	○なぜ統合計画の統合年度が伸びたのか。	(記録なし)
2	○統合後の学校の姿をはっきり示してほしい。	(記録なし)
3	○令和7年度に統合するのであれば、現時点でもっと具体的な内容が示されないといけないのではないか。	(記録なし)
4	○朝ヶ丘中学校の道路出入口は交通量が多く狭いので、交通事故対策をしなければならないのではないか。	(記録なし)
5	○中学校統合による朝ヶ丘中学校の改修案を示してほしい。	(記録なし)
6	○中学校の給食はどうなるのか。学校が少なくなるのであれば、自校方式を残してはどうか。食育も考えてほしい。	(記録なし)
7	○教員数はどうなるのか。一人ひとりに目がいき届かなくなるのでは。	(記録なし)
8	○部活動が多くなるのは良い。選択肢を増やしてあげたい。外部コーチを取り入れてほしい。	(記録なし)
9	○須崎中学校が浸水区域というが、須崎小学校も浸水区域ではないか。	(記録なし)
10	○須崎中学校を須崎小学校に移して、小中一貫校にしてはどうか。須崎小学校は教室が丸1棟ほど余っている。その際、グラウンドが不足する場合は須崎中学校のグラウンドも使用してはどうか。	(記録なし)
11	○安和保育園と小中学校統合の関係は。	(記録なし)
12	○安和保育園はどうなるのか。	(記録なし)
13	○中学校は一気に統合するのか。小学校はどうか。	(記録なし)
14	○小人数から大人数の学校へ行くと、慣れない子どもがいるので心配する。	(記録なし)
15	○統合計画書に「こんな学校をつくります」とあるが、統合に関係なく取り組めばいいと思う。	(記録なし)
16	○中学校は一気に統合するのか。受験生(中学校3年生)に影響が大きいので、段階的に統合するなどの検討をしてはどうか。	(記録なし)

須崎市小中学校統合計画説明会での意見・質問と回答内容

No	発言内容	回答内容
17	○浦ノ内の須ノ浦地区は巡航船で通学している。統合すればスクールバスになると思うが、須ノ浦地区まで来てほしい。南岸は時間がかかる。	○今後の巡航船の在り方については、市役所の内部での議論になります。スクールバスの運行は、市内全域になりますので、「統合準備委員会」を立ち上げて検討します。
18	○説明会についてPTA総会に来ていただいて保護者全体に説明をしてほしい。	○要望があれば参加します。
19	○中学校5校から1校という計画に抵抗があった。驚いた。	○小学校の時から学校にも協力をいただいて交流をしていきます。
20	○通学を心配する。自転車通学の場合、街灯がないので暗い。	(意見として聞きました)
21	○部活動があれば、帰宅時間が遅くなるので心配する。	(意見として聞きました)
22	○部活動で連合チームが解消されるのはうれしい。選択肢ができるのも良い。	(意見として聞きました)
23	○地域への説明会はあるか。	○地域への説明も必要ですが、公民館との日程調整やコロナ対応による開催方式の検討が必要ですので、開催時期は未定です。
24	○中学校統合が令和7年度になると、現在の小学4年生が中学3年生になる。受験に影響がないように配慮をお願いしたい。	○貴重なご意見ありがとうございます。
25	○朝ヶ丘中学校1校への統合は、部活動の部員が増えて、現在のグラウンドでは手狭になるのではないか。	○第2グラウンドを検討しています。
26	○給食センターの建設は財政的に可能か。	○ふるさと納税を財源とした基金を積み立てています。
27	○部活動の種類を増やす検討はしているか。	○人数の少ない学校は、統合することで選択肢が広がることもあります。カヌー部の創設は検討しています。
28	○中学生が毎年30~40人減っているが、市外への進学か。	○市外への進学は平均15%程度です。
29	○朝ヶ丘中学校への保護者の送迎やスクールバスの運行で交通量が増えるが、道路改修は検討しているか。	○道路改良は須崎市だけではなく、関係機関との協議が必要となります。現段階で「このようにします」という計画はありませんが、交通量が多くなることに対して、何らかの検討は必要と考えています。
30	○多小坂の県道入口付近への信号機の設置を、保育園統合の際に協議したが、ぜひ再検討をお願いしたい。	○現在、東西の信号機の時間設定を警察が対応してくれています。信号機の設置について、警察との協議は続けていきます。
31	○説明会の資料について、今回の資料はメリット・デメリットを示しているのわかりやすい。	(意見として聞きました)

須崎市小中学校統合計画説明会での意見・質問と回答内容

No	発言内容	回答内容
32	○生徒から「eスポーツ部」創設の要望があった場合は設置可能か。	○指導者や環境整備が必要となるので検討課題となります。
33	○説明会の資料にある「取組内容」を実施する場合に家庭負担は必要か。	○義務教育での実施ですので費用は必要ありませんが、家庭でのWi-Fi環境の整備はお願いすることになります。学習指導要領をこえる内容については、負担を求める場合があるかもしれません。
34	○部活動について、中学校が1校になると市内対戦ができなくなる。	○対戦は近隣の学校となります。
35	○部活動について、レギュラーになれず面白くないと思う生徒がでてくる。	(意見として聞きました)
36	○中学校は1校で決定か。	○須崎中学校は生徒数の基準を満たしていますが、津波浸水区域なので継続しないとしています。
37	○中学校統合への反対意見はあるか。	○これまでの説明会の中での反対意見はありません。地域での反対意見はあると思います。
38	○遠方の生徒の通学はスクールバスか。	○はい。そうです。
39	○自転車通学を認めるのは学校か。	○はい。そうです。現在、小学校は多ノ郷小学校のみ自転車通学があります。距離の基準もあります。
40	○給食センターの計画はどうなっているのか。	○給食センターは建設する方向性を決定して、現在用地選定中です。
41	○小学校の給食について、人員不足や施設老朽化の理由で、アレルギー対応ができないと言われた。高知市の給食センターでは対応可能と聞いた。	○基本的なアレルギー対応はしていますが、対応が困難な場合は別途対応をさせてもらっている場合があります。
42	○統合すれば学校の名称は変わるか。	○今後、「統合準備委員会」で部会を立ち上げて決めていきます。
43	○中学校が1校になるが、スクールバスはあるか。	○遠方であれば、スクールバスを考えています。その他、学校名などの細かい内容は、今後、「統合準備委員会」を立ち上げて検討します。
44	○部活動後もスクールバスは出るか。	○現在、浦ノ内では「部活便」を走らせていますので、それを参考に今後検討していきます。
45	○今回は役員会での説明だが、保育園保護者全体への説明は行うか。	○保護者会総会での説明を予定しています。
46	○市からの説明は聞いたので、保護者の意見を聞いてもらいたい。	○保護者会総会の説明の場で意見を伺います。
47	○説明会の資料について、保育園の保護者には簡易版ではなく正式な統合計画資料を配布してもらいたかった。	(意見として聞きました)

須崎市小中学校統合計画説明会での意見・質問と回答内容

No	発言内容	回答内容
48	○複式学級になると必要な教員数が確保できないということだが、基準の見直しを市が国や県に働きかけることはできないか。	○全国的に教員が不足しています。これから小学校の35人学級が進んでいきますので、市としても確保してもらわないと困る状況になります。
49	○須崎中学校を高台に新築はできないか。	○できれば一番良いですが、須崎市の地形では山を切らないと高台がありません。高台開発も議論していますが、現在断念している状況です。
50	○朝ヶ丘中学校は浸水区域ではないが、親としては少し低いと心配している。	○最近の風水害の状況を見ると、想定外であり心配されると思いますが、ハザードマップの情報では区域外となります。
51	○上分中学校は津波の心配はない。朝ヶ丘中学校へ通学すれば、浸水区域を通るので津波被害を受ける可能性が高くなる。上分は津波の心配がないということで移って来られた方もいる。そうした点も考慮して、計画を練り直してほしい。	○意見として持ち帰り、策定委員会で議論をさせていただきます。
52	○生徒数の減少は本当にそうだと思う。生徒が少ない環境がどうか、一定の集団を作りたいことは理解できるが、1校でなくてもできるのでは。上分中学校に新荘から来れば、一定の集団ができる。2・3校でも集団ができる。ICTでも他校の意見を聞ける。要は新荘川流域に小学校、中学校を残してもらいたい。	○人口減少に歯止めがかからない状況で、今の保育園は1から3歳まで、上分・安和・新荘地区でそれぞれ10数人です。その年代が中学生になると30～40人の学校になります。
53	○上分中学校を残すことで魅力ある教育ができると思う。新荘川を守るという環境教育に力を入れてもらいたい。上分中学校がなくなること、環境の良さを失うことを惜しむ声がある。	(意見として聞きました)
54	○退職教員から「生徒数が多くなると、教師の目が行き届かなくなるのは当然である」と意見があった。上分中学校は少人数で子ども一人ひとりを見てくれるという安心感がある。「学習面では1人1台タブレットで丁寧にフォローできる」と説明されたが、学習面で可能であっても教育は学力を上げれば良いというものではない。人格形成も重要である。少人数で、先生が一人ひとりのニーズに応えることで自己肯定感を育てていける。1校を少人数学校として残すことにメリットはあると思う。	○例えば、いじめがあった時に転校できなくなるという声もある。学校は、先生だけが子どもの成長を促すのではない。友達がいる、友達同士の中でいろんなことを学びあい承認を得られる。自らも学ぶ、様々なことに気付く。集団の中で学習していく、切磋琢磨できる環境が必要ではないか。40人のクラスでしっかり見てくれる先生もたくさんいる。少ないから見れる、ではなく、多くてもしっかり見れるのが先生である。女子の中に男子が一人のケースがあり、男子は「皆よくしてくれるが同性の友達がほしかった」という意見もある。集団といってもそんなに大きな集団ではない。
55	○統合後の使用しなくなった学校の使い道は検討しているか。	○検討材料は色々ある。住民組織で使ったり、室戸では水族館、図書館などもある。管轄が学校教育課から外れるので現在は検討していない。地域と相談して決めます。
56	○検討をされるということだが、その会議の情報は公開してもらえるか。	○統合計画策定委員会で議論した議事録は公開請求により公開できる。
57	○小学校は早く統合してかまわないと思っている。	○小中学校ともに子どもが減っている。中学校では南、上分、浦ノ内が基準を下回っているの、先に中学校を統合して環境整備をしたいと考えている。小学校も早く統合してほしいという要望があれば、声を届けて下さいとお答えしたことはある。

須崎市小中学校統合計画説明会での意見・質問と回答内容

No	発言内容	回答内容
58	○新荘地区なので上分中学校なら自力で何とか行けると思っていた。朝ヶ丘中学校となると、スクールバスが出てても遠いと感じ負担になる。上分中学校を残して、行きたい方に行けるようにしてほしい。1校で馴染めなければ私立へ行かなければならない。	○中学校1校について、不登校等の受け皿についての意見もある。不登校については教育支援センターが対応している。
59	○教育支援センターへの交通手段はあるか。	○現在は自力でお願いしている状況です。別の場で市内の交通網について検討をしている。須崎市ではバスが多く通っているので、バスを活用した提案をさせてもらう。
60	○朝ヶ丘中学校に路線バスで通学するのはすごく不便。部活後のスクールバスの対応も考えると自転車で通学できる上分中学校を残してもらいたい。	○市としてはこの計画で進める予定ですが、不便な声があれば不便さを無くしていくことにしています。保護者の意見を聞いて、より良いものをつくっていきたい。
61	○中学校1校になった場合、給食センターになる。上分中学校は自校式である。先生の声は「センターより上分の給食はおいしい」と言われる。給食も環境整備の1つである。	○給食が自校式からセンターに変わるのは、既に決定していることであり、学校教育課のみで答えられない。上分はしばらくは自校式ですが、いつまでも継続することはできません。
62	○徒歩で空気を吸いながら通学できる環境から、スクールバスになると教育環境の悪化になるのではないかと。もう少し幅広く検討してほしい。	(意見として聞きました)
63	○説明会について、平日の夜は出席者が少ない。来るのに無理をされていると思う。保育園の保護者は小学校・中学校の両方に関わってくるので、zoomでの説明会ができないか。チャット機能もある。発言しづらい人もいる。色んな形の説明会を設けてもらうと意見することができる。	○各家庭はWi-Fi環境が整っているでしょうか。Wi-Fi環境がない家庭があると、その方法を強いることはできません。例えば説明会の日程調整をしていただければ説明に伺います。
64	○中学校統合の決定はいつか。子どもが中学2年生で統合になるので、令和5年には決めてもらいたい。	○令和7年度の開校を目指して取り組んでいきます。
65	○スクールバスの運行と通学路は決まっていますか。	○まだ決まっていません。広く意見をもらって決めていきます。
66	○スクールバスはどこからどこまで出ますか。	○市だけで決めるのではなく、保護者の意見を聞いて決めていきます。PTAや保育園保護者会の会長に委員になっていただき「統合準備委員会」を立ち上げたいと考えています。
67	○須崎中学校はどこまで津波がきますか。	○想定では約5～10m。旧須崎高校の3階程まできます。
68	○須崎中学校区からの自転車通学は可能ですか。	○可能な子どもは自転車通学でと考えています。
69	○市として人口減少についてどう考えているのか。	○全国で人口が減少しており人口増は困難な状況ですので、いかに減少を抑えるかが重要と考えています。働く場の確保も課題となっています。
70	○朝ヶ丘中学校ともう1校として、須崎中学校を残せないか。	○須崎中学校は学校適正配置計画の基準以上の生徒数であるため、津波への対応をどう考えるかの判断になります。

須崎市小中学校統合計画説明会での意見・質問と回答内容

No	発言内容	回答内容
71	○統合計画はいつ決定するのですか。	○統合計画を定めているので基本はこの計画で進めます。最終決定は市長になります。
72	○具体的なプランを示してもらった方が意見を言いやすい。	(意見として聞きました)
73	○朝ヶ丘中学校までの自転車通学について、歩道がないので整備してほしい。(大間地区の県道など)	(意見として聞きました)
74	○いじめや不登校の問題を懸念するのであれば、段階的な統合をすればどうか。	(意見として聞きました)
75	○須崎中学校を残すにしても、津波対策はしてもらいたい。	(意見として聞きました)
76	○須崎中学校は斎場が避難場所ですか。	○3ヶ所ほど避難道があります。
77	○中学校1校は人数により仕方ないと思う。歩道など通学路の整備はできるのか。	(意見として聞きました)
78	○スクールバスを遅くまで走らせたら良い。	○夏と冬で明るさも違うので自転車通学は課題となる。
79	○中学校から急に大人数になって馴染めるのかが心配です。小学校のうちから、学校同士で交流する機会があればもっと不安もなくなるかなと思います。	(意見票で聞きました)
80	○自宅から須崎市内まで30～40分程かかります。スクールバスの部活便が無ければ保護者の迎えが必要となり、負担になります。スクールバスの本数確保とバスの待機場所(校外なら防犯カメラやライト等の設置)の確保を希望します。	(意見票で聞きました)
81	○浦ノ内中学校の体育館は新しいですが統合後はどうなりますか。	(意見票で聞きました)
82	○スクールバスの運行計画は決まっていますか。	(意見票で聞きました)
83	○教職員の配置について、今後生徒数が減少するのであれば、配置基準に関して県または須崎市で独自に全国に先立ち再検討する必要があるのではないかと。	(意見票で聞きました)
84	○南海トラフ大地震も想定し朝ヶ丘中学校に統合するとあるが、地震発生後の事態についても想定はしているのか。統合し人数が増えることで備蓄関係や退避場所、帰路についても想定しておくべきではないか。	(意見票で聞きました)
85	○中学校統合にあたり、現教員の意見は反映されているのか。生徒だけにフォーカスしてもダメだと思う。先生にとっても統合がいい形になれば、結果として生徒へ還元されると思う。	(意見票で聞きました)

須崎市小中学校統合計画説明会での意見・質問と回答内容

No	発言内容	回答内容
86	○統合を行うことで、人員配置や財政効率化が改善されるのは理解できるが、数字的な教育効果や子どもたちの生活面への影響についてはどうなるのか。計画案に列挙されているメリット・デメリットは具体性に欠けている。	(意見票で聞きました)
87	○思い切った統合計画、せっかくやるなら「学びやすい」「教えやすい」統合校にして生徒・先生・須崎市にとって良いものにしていきたいですね。	(意見票で聞きました)
88	○部活動についてプログラミング部ができるのか。	○そのような検討をしていけばどうかとの考えで確定ではありません。
89	○統合すれば学校は荒れますか。	○荒れた学校もあると聞いています。
90	○人数の多い学校に行きにくい子どももいる。	(意見として聞きました)
91	○スクールバスは1便では厳しい。	(意見として聞きました)
92	○学校適正配置計画では、中学校の適正規模が1学年20人以上・1学校60人以上で基準が定められている。上分小学校と新莊小学校の児童が上分中学校で統合すると、学校適正規模を満たすと思うが、その統合での可能性はないか。	○現在の計画は、統合計画策定委員会や庁議を経て策定をしていますので、今のところ、質問での計画はしていません。
93	○今後、計画はしていただけないか。	○現在策定している計画で進めることが市の考えです。説明させていただいた取り組み内容も、一定数の生徒が集まってこんな学校を作っていきたいということで、目標を立て動いているところです。
94	○上分小中学校は新莊川のほとりで、清流を各教室から眺め、せせらぎを聞きながら、とてもいい学校環境だと思う。しんじょう君が頑張っている須崎市として新莊川を愛する気持ちを育てるためにも、上分小中学校の立地は最高だと思う。この川のほとりで学ぶ9年間は、子どもたちにとって新莊川愛や郷土愛を育むすごくいい環境だと思うので、ぜひ清流のほとりで暮らす児童生徒たちを、この川のほとりで教育出来たらいいと思っている。保護者の意見検討をお願いしたい。	(意見として聞きました)
95	○この学校適正配置計画は、平成26年に策定されているが、現在、コロナにより、1クラスの人数を増やすと感染リスクが高くなると心配する。統合計画の中に感染症のリスクについてくんでもらえないか。	○1クラスの人数は文部科学省が決めています。小学校は経過的に35人学級、中学校は40人と決められています。クラスターの心配もあると思いますが、コロナも「withコロナ」として対応していくことになると思います。令和7年度の状況は分かりませんが、コロナも新しい生活様式として考えながら計画していきたいと思っています。
96	○地域や保育園での説明会はいつする予定か。	○現在、小中学校PTAの総会を訪問しています。保育園や地域に向けても説明に行く予定ですが、日程は決定していない状況です。
97	○少人数で学んでいた小学生が、いきなり多人数の中学校に行くのは、戸惑いもあると思う。	(意見として聞きました)

須崎市小中学校統合計画説明会での意見・質問と回答内容

No	発言内容	回答内容
98	○先に小学校の統合をして、一定規模の環境に慣れた後、中学校に行く方が安定して行けるのではないかと。中学校も部活動で幅が広がるとの説明だったが、スクールバスで帰る時間が制限されるなど、色々な課題が山積みであると思うので、先に小学校の統合、そして中学校の統合を進めた方が、今後の子どもたちの活躍に繋がるのではないかと。	○考え方は色々あると思います。小学校は8校から5校に統合する計画ですが、例えば、その3校から統合時期を早めてほしいという意見があれば、声を聞かせていただきたい。スクールバスのご意見もありますが、現在、部活動は先生方の働き方改革の観点からも、遅い時間までしていません。部活動も時間を決めてますので、スクールバスの検討をしていきます。
99	○説明会の資料に関して、この先10年、20年、30年後の推移も揭示すれば、保護者の理解が深まるのではないかと。30年後には須崎市の人口は1万人以下になると予測されているので、子どもの比率がどれくらいでどれくらいの学校環境をこれから想定されるのかを書いた方が明確にビジョンが見えてくるのではないかと。ICT教育が要になると各自治体も考えていると思う。近隣自治体の参考例も書き、その上で須崎市としてどういうビジョンでこの先の教育の取り組みを考えていくかを出した方が保護者の考えも深まっていくのではないかと。	○たいへん前向きなご意見ありがとうございます。検討させていただきます。
100	○スクールバスの発着地点や停留所はどうか。部活をしている、していない生徒で違ってくるがどうか。	○スクールバスは、「混乗便」「南岸便」「北岸便」「部活便」を走らせています。統合になれば、そのバスをどのように走らせるかを全体的に考えて組み合わせる予定です。
101	○中学2・3年生で統合する生徒へのフォローはどのようにするのか。	○1年での統合を考えています。フォローは精神的、体力的な面など様々あります。今後、フォローについても、「統合準備委員会」で、保護者・学校の意見を出していただいて、より良い案を設定したいと考えていますので、ご協力をお願いします。
102	○令和7年度開校となると今から検討するのは遅くないか。	○検討事項が制服、校歌、通学の方法など多岐にわたります。「統合準備委員会」を設けて、専門的な部会で学識経験者も入れて検討することを考えています。遅くならないように検討していきたい。
103	○制服はどうか。	○新たになると考えています。1つの学校に合わせると抵抗がある方もいると思います。
104	○中学2・3年生も新しい制服を購入するのか。	○購入は保護者の負担になりますので、少し混在する期間が出てくるかもしれません。検討します。
105	○浦ノ内中学校は給食があるが統合するとどうなるか。	○給食センターの建設を計画して、令和7年度の供用開始に向けて準備を進めています。間に合うように頑張っています。
106	○統合計画は決定ですか。	○平成26年度に「学校適正配置計画」を策定しましたが、以降も子どもの数は減っています。複式学級が増えて小学校だけでなく中学校にも複式学級ができています。こうした状況ですので統合は計画どおり進めていきたいと考えています。

須崎市小中学校統合計画説明会での意見・質問と回答内容

No	発言内容	回答内容
107	○中学校1校について、いじめや病気で勉強についていけない場合はどうなるか。	○不登校の問題は全国的な問題で、大変憂慮すべき問題です。不登校になる以前の初期対応が大切です。学校が大きいから適応できないという問題ではないと考えています。一人ひとりに応じた個人対応が大事であると考えています。また、学校に行きにくくなった子どもが学習する場として教育支援センターを設置しています。子どもが充電して学校に行けるような工夫もしています。不登校になる前から一人ひとりを支えていける学校にしていきたいということが、統合計画の目標の一つでもあります。
108	○現在浦ノ内中学校は2人体制で授業をしているが、統合後もその体制がとれますか。	○学校が大きくなれば教職員も多くなるので充実できると思います。
109	○統合計画が決定事項なら、納得せざるを得ない状況。以前に横浪小学校と浦ノ内小学校が統合した時に、校章のことで色々あった。「制服を楽しみにして」と言われても、楽しみにする前に納得せざるを得ない状況なので、保護者に関係することを先に説明してもらわないと楽しみに出来ない。皆が納得できるように説明をしてもらいたい。	○今現在説明できることを説明させてもらった。市で決めるのではなく保護者にも入ってもらい検討してもらいたいと思っている。検討会の設置の際にどのように公募をするかなどの参考にしていきたい。
110	○安和小学校は、地区でもPTAでも話し合っ計画自体を見直してほしいとの結論に達している。安和小学校を残してほしいと要望書も出している。安和は地域の人と学校と一体となって関わりを持っている。運動会も地域の人と一緒にしている。皆が地域に愛着を持って、その中で子どもたちもすくすくと育っている。上分小学校に統合することで、上分地区を知ることよいかもかもしれないが、もっと安和を知ってもらいたい。安和で新しく暮らしてくれている人もいる。	○教育委員会としては教育的観点でお願いを申しあげています。
111	○教育的観点というが、コロナが加速化し在宅勤務が可能になっている現在において、これまでは東京に集中して仕事をするために人が流出していたが、今は東京で仕事しても居住地は高知ということも普通になってきている。集めないで教育ができないというのはおかしい。むしろ地域にいて地域の課題を学んで解決していくべき。	(意見として聞きました)
112	○私はUターンで戻ってきた。大きな学校で学んだ経験があるが、大きくなるとクラス以外の同級生の顔など知らない。友達の親の顔も名前も知らない。しかし、安和出身の夫はすべて把握していて皆のことを知っている。地元で根差した交流関係をうらやましいと思った。そんなところに魅力を感じて、安和で子育てしたいと思い帰ってきた。自然の中で小さな学校で子どもを育てたいと思って帰ってきたので、学校がなくなると何のために帰ってきたか理由がなくなる。文部科学省の手引きには2つの方法が書かれていて、一つは統合、もう一つは地域に合わせた持続可能な経営だが、今日の説明は統合ありきのように聞こえる。学校がなくなると地域にどんな問題が生じるのか考えたことがあるのか。上分と一緒に上分のPTAとうまくやっていけるのか。そういったことも考えると統合をすることに反対である。	(意見として聞きました)
113	○給食センターも令和7年度にセットで考えているのでしょうか。	○現在朝ヶ丘中学校と須崎中学校が給食がありません。他の中学校はあります。令和7年に統合した際に給食がなくなる状況は作りたくないと考えています。目標を令和7年にしていますが、セットではなく給食はできるだけ早くやりたいと思っています。

須崎市小中学校統合計画説明会での意見・質問と回答内容

No	発言内容	回答内容
114	○中学校統合について、吾桑小学校は朝ヶ丘中学校に行くことに変わりはないので、よりよい学校にしていただければ意見はありませんが、地元の学校が統合される地域は大変だと思うが、住民の反応を教えてください。	○地域それぞれに考え方があり意見があります。その地区で小学校を残してもらいたいという意見もあり、中学校1校はいかがなものかという意見も地区によってはあります。また浦ノ内は遠方のためスクールバスを想定しても朝が大変じゃないかという意見はすでにいただいています。それでも今のこの生徒・児童数をみると、現在の計画でご理解をいただくということで説明に伺っています。
115	○吾桑小学校は特認校制度が今ありますが、人数的に厳しくなった場合、結局多ノ郷小学校に統合しますか。余地があるなら特認校なので多ノ郷から吾桑へ来てもらうこともできるのでは。特任校のPRをもっとしてほしい。	○特任校のPRは、現在市のホームページや広報誌に募集の時期に掲載していますが、前向きにどのような形がとれるか検討しています。例えば保育園年長組にチラシ等を配布することは考えています。仮にこれから児童数が少なくなった時に多ノ郷小学校に統合かというご質問は、多ノ郷小学校の児童数を含めると吾桑小学校の施設に入れられないという状況が基本になると思っています。
116	○中学校を5校から1校に統合した場合、先生の配置はどうなるのか。統合した学校へ行くのかそれとも減るのか。減るのなら須崎で先生をしたいと思っている先生が他へ行くのは寂しく感じる。	○先生の数にはクラス数によって決まるという説明をさせていただいた。市全体でみると5校が1校になると確実に減ることは想定される。
117	○統合後の取り組みについて、カヌーや英語などの部活動の新設もいいですが、既存の部活動に外部コーチを登用して、中学校が1校になっても高知の学校へ行かなくても須崎で部活動がしたいと思えるような取り組みをすれば、生徒数の確保もできると思います。	○部活動について、統合と別でこれから3年くらいかけて地域移行をしようという議論が始まっています。まずは休日の部活動を地域の方や地域のクラブチーム等でできないか議論が進むのですが、須崎等は受け皿が問題となります。先生が忙しい理由の一つに部活動の指導がありますので、長時間労働を改善するためにも地域移行が必要と言われていています。受け皿や指導者の確保、地域ボランティアの件費の課題も出てきますのでハードルがいくつもあると思っています。
118	○人数が減って統合することは仕方ないという親が大半と思う。地域の人は残してもらいたいという気持ちもとてもよく分かる。統合後の取り組みについて資料にのっている以外にも、売りにしたい部分をもっと具体的にいっぱい出してもらった方が、一校になっても安心して統合した学校へ連れていけるねという考え方になると思う。	○今日の説明会は、前回と同じ説明内容ということでご理解をお願いします。色々いただいた意見はPTA、保護者会、地域の代表の方に入っていて、「統合準備委員会」で議論をさせていただきたい。貴重なご意見ありがとうございます。
119	○学校名はどうなるのですか。朝ヶ丘中学校のままですか。	○それも「統合準備委員会」で検討します。学校名、校章、校歌等色々協議をしなければならないというものは出てきます。
120	○令和7年度開校を目標とされていますが、目安でかまわないので今後のスケジュールをお聞きたい。	○まず説明会未実施の学校、保育園を今月中を目途に一巡して、「統合準備委員会」「統合計画策定委員会」でこれまで出された意見等について協議します。「統合準備委員会」はPTA会長、保育園保護者会会長、地域代表に意見を出してもらい改善案をいただいて協議もしたいと思っています。それは当面今年度進めたいと思っています。平行して令和7年度が目標ですので施設整備等、しかるべき時期に方向性は示さなければならないと思っています。市長も含めて検討しながら進めていきたいと思っています。

須崎市小中学校統合計画説明会での意見・質問と回答内容

No	発言内容	回答内容
121	○前回とほとんど説明が変わってなかった。それ以降進んでいることがあれば教えてほしい。ずっと同じとこにいるように感じる。説明会の時期がなかったということですが、足踏みしていた感じに思えてしまう。	○おっしゃるとおり足踏み状態です。この資料というか統合計画の説明をしているので、今まで説明をした状況と違う説明もできません。「統合準備委員会」も開けず、本当に協議が進んでいないのが実態です。6月末に説明会を終わらせ、それから「統合準備委員会」「統合計画策定委員会」のほうで協議をしたいと思っており、これまでの意見について協議を進めていきます。
122	○統合は仕方ないと思っており、別にそこに反対する気持ちはない。むしろ説明会資料の取り組みの内容等をもう少し充実してもらいたいと思う。地域が寂れることもあるけど、このまま人口が減ると須崎自体が機能しなくなると思う。ぜひこんな中学校があるから須崎に移住したいという人が増えるような学校にしてもらいたい。せっかく統合するのであれば、いいものにしてほしいと思うので、内容をもっと具体的に教えてもらえるとう明るい未来へ向かって進んでいくんだと感じがして、これから統合したらどんな素晴らしい学校になるとかどんな素晴らしい子どもたちに未来があるのかっていうのをもっと具体的に知りたいなと思っています。令和7年開設までに色々こんな風に進んでいくと、そんな学校があるから須崎市に住もうっていう人が増えて移住してくる人がきまって須崎がもっと人口が増えてという循環ができればいいなと思っています。	○別の会場でも、もっと前向きな説明をしてもらうと安心できるというご意見をいただきました。そういう意味では、協議の中で行政側だけで決めれることももちろんありますが保護者の希望も聞きながらできることもあると思いますので、準備委員会で議論もできたらいいと思っております。お答えができるものを作りあげていきたいとは思っております。貴重なご意見ありがとうございます。取り組み内容は、統合しなくてもできることが実際はあり、既に進めているということも実際あります。もう一人一台タブレットになり、このICT教育は須崎だけでなく全国でやっていることですので、前向いた議論というか修正をしながら説明ができるようにしていければいいと思います。貴重なご意見ありがとうございます。
123	○統合することも全然反対ではない。逆に全部の小学校を統合した方がいいとも思う。統合後の中学校、小学校の建物や土地の活用を考えられていますか。	○現在、市が活用案等を決めたものではありません。それぞれの地域にあり地域の方々の思いや地域が寂れるという声もありますので、地域で活用できることがあればぜひ提案をいただきたいと思います。もちろんできる・できないことが当然でできますが、少し先にはなりますが、地元の方と意見交換もして決めていきたいと考えています。
124	○須崎市は英会話、IT、てくテックなどの取り組みもされており、ボートやキャンプ場もできて企業誘致が進んできたとは思いますが、須崎で育った子どもが須崎に戻ってくる程は、企業誘致や起業支援は進んでいない。統合と一緒に色々な教育を進めていく活動とともに、子どもたちがそれを活かしやすいまちづくりも一緒にセットで考えるべきだと思う。	○現在、浦ノ内で海洋スポーツパークの取り組みを進めています。カヌーに携わる地域おこし協力隊も雇用していますので、カヌー一部ができればと考えながら、取り組んでいきたいと思えます。てくテックはプログラミング的思考を育み、様々な体験をしていただけるよう、取り組んでいきたいと思えます。外に出た子が帰って来るという、これは市をあげて取り組むことであるということですので、申し訳ないですが今日はご意見としていただきます。どうもありがとうございます。
125	○人口減少を前提とした考えではなく、人口を増やしていく考えをセットでもつべき。高校卒業後に働く場がないので、県外へ転出するのが当たり前になっている。統合により教育環境を整えて終わりではなく、一緒に須崎の働く場やまちづくりをセットで考えていく行政であってほしいと思う。	○市をあげて人口減少に歯止めをかける取り組みはしていますが、移住者の増加も含めて、市の課題として取りむ要があると思えます。
126	○中学校が1校になるが、スクールバスはどうか。	○遠方はスクールバスが必要になることは認識しています。準備委員会を立ち上げて、議論する予定です。
127	○中学校の自転車通学の範囲は今の区域から変更ないですか。	○保護者の方から意見をいただきながら検討したいと思えます。

須崎市小中学校統合計画説明会での意見・質問と回答内容

No	発言内容	回答内容
128	○自転車通学が増えるので、今の自転車小屋では不足すると思います。	○自転車小屋に限らず、必要な施設改修は色々ありますので、別の場で検討していきます。
129	○小学校の総合学習で、地域を知る授業、地域の人と触れ合う授業がありますが、統合するとそれぞれの出身地域での授業は難しいかと思いますが、どうなっていくのでしょうか。	○学校授業の組み立てを考える必要がありますので、学校との調整になります。例えば多ノ郷小学校は南小学校と統合しますが、お互いの地区で学習をしてお互いの地区を知れるような取り組みをしてもらいたいと思います。
130	○朝ヶ丘中学校は給食がなくお弁当ですが、統合した時に遠方の保護者さんは朝からお弁当を作るの大変だと思うので、給食というか配食みたいな検討もしていただけると個人的にはありがたいと思います。	○給食センターの建設を検討しています。統合とは別にできるだけ早く給食センターは建設したいと思っています。
131	○通学が一番心配です。	○同じ地区でも部活動を「している」「していない」でも違ってきます。部活動によって終わる時間もまた違ってきますので、どうしても家庭や保護者の方が心配することもあると思います。「統合準備委員会」でご意見をいただきながら進めたいと思っています。
132	○「てくテック」の事業は、今後拡大していく予定はありますか。	○プログラミング等の部活動の拠点にならないかという思いはあります。
133	○パソコンが得意、体を動かすのが得意、色々な子どもがいるので、「てくテック」のような遊びながら学べる場所、子どもが集まれる場所を子どもが自力で行ける区域に増やしてほしい。	○部活動の地域移行について説明。例えば浦ノ内にはスポーツクラブがあり、カヌー場もありますが、遠方で移動手段がありません。
134	○中学校が1校になりますが、遠方の子どもはバスとかを構えていただけるんですか。	○遠方になりますと、保護者の方に毎日送迎してくださいということにはなりませんので、スクールバスが当然必要になると思っています。
135	○中学校が統合して1校になると、建物が変わったりしますか。	○今の計画では、どうしても若干の施設整備、改修が必要になってきますが、大規模な改修は今のところ考えておりません。もちろん予算の問題もありますが、どこかに新設の学校ができればということはもちろんありますが、今の段階ではそこまで検討できていません。
136	○計画で決定ですか。まだ計画段階ということですか。	○市としましては統合計画を、今の目標は令和7年度に中学校開校、その3年後令和10年度に小学校の統合ということで定めて、説明にお伺いしてご理解をいただいて進めたいと考えています。
137	○統合計画のパブリックコメントはほとんど反対の意見であった。小学校は意見が反映され改善されたが、中学校は5校を1校にするのはあんまりだという意見である。その後、新しい提案がない。	○人口減少が非常に激しい状況です。令和7年がピークでその後は減少となる説明もさせていただいた。中学校も人口減少に伴い、生徒数が減ることを考えて統合を先にさせていただくもの。
138	○英語教育、ICT教育は国を挙げてやることなので、統合計画と一緒に議論するのは間違っていると思う。	○英語教育、ICT教育を授業で行うことは当然ですが、さらに強化するもので、通常の授業だけではなく、例えば保育園の幼少期からALTを活用して英語に慣れ親しんでもらい、須崎市に英語が嫌いな子どもはいないような環境作りをしたいと考えています。
139	○クラスの数が増えると先生の目が届きにくくなる。	(意見として聞きました)

須崎市小中学校統合計画説明会での意見・質問と回答内容

No	発言内容	回答内容
140	○新莊・安和・上分小学校が統合となっているが、中学校の適正規模の1クラス20人がクリアできる。中学校統合を先に済ませ、小学校の統合をするのは納得ができない。	○子ども一人ひとりを見ていく先生の教育熱心な姿勢をお聞きしました。今、ソサエティ5.0の社会の中で学びが変わっていくという説明もしましたが、タブレットが子どもたちの学びを深くしていくだけでなく、スタディ・ログと言うものがあり、把握や分析をしてよりよい学習コンテンツを提示したり、蓄積して子どもたちに合った学習支援をすることも含まれており、ICT化されている。先生方が子どもを見て育てることは重要な事であるが、学習支援で言うとICT化も進んでおり、効率的に分析できるものです。
141	○中学校1校について、これまでも、高知県内で、5校を1校に、4校を1校に、8校を1校にということもあったが、必ず学校が荒れている。そういう事がないようにしていただきたい。	(意見として聞きました)
142	○今日の説明会にパブリックコメントが出されていない。パブリックコメントの一覧では、賛成は19.2%、80.7%が反対の意を示している。民意を示していないので不安である。	○本日は簡易版資料での説明であり、パブリックコメントはホームページに掲載しているのでぜひご覧いただきたい。
143	○土佐清水市の中学校が1つに統合されたが、学校が荒れて大変なことになった。	(意見として聞きました)
144	○この統合計画はデメリットがなく、きれいな事ばかり書かれている。これで統合に向け素晴らしいものになっていくのか疑問。	(意見として聞きました)
145	○保育園から一貫して英語やICT教育をすることは魅力的と思うが、なぜ統合しなければ成立しないのか理解できない。統合しないままで魅力ある教育を提供してほしい。	○新学習指導要領で、他者の考え方を知って、より学びを深めていく、主体的でありながら、対話的で深い学びということが言われている。英語やプログラミング、ICT教育もそうだが、自分だけでは気が付かないところが、友達の意見を聞いて深めていくという要素が多くある。英語では、お互いに会話をして深めていくが、少人数ではできにくい部分があり、一定の集団を作りたいと思っている。
146	○魅力ある教育の観点から、最近「新莊川が臭い、汚れた」と言われた。地元の人を守っていく意識を持つためには、新莊川流域に小中学校を残して、川や山を守る、生活排水を考える、そうした環境教育を提供してほしい。新莊川愛、須崎愛となり、Uターンして、ここで子育てしようとする人も増えると思う。須崎市の特色ある教育として移住者にもアピールできると思う。	○子どもたちに求められる能力があり、課題をどのように解決するかを学ぶ人材育成も求められている。指摘のとおり、川をきれいにするには、山を守るにはどうすればいいか、そういったことを子どもたちが思考し、情報を求め、好奇心を持って学習をしていかなければならない状況にある。テレビでもSDGsな学校と放映されている。そうした学習や子どもたちの能力を育成するために、統合計画を提案している。
147	○人口減少ストップのためにも、新莊川流域で川を守る環境教育を検討してもらいたい。新莊川流域に1校残してもらいたい。	(意見として聞きました)
148	○上分は津波の心配がない。上分中学校は絶対残してほしい。	(意見として聞きました)
149	○参加者は意見を持っていると思うが、限られた時間で発言できない人もいると思う。今日は参加者が多い。少なければ、意見も言えるかもしれない。	(意見として聞きました)

須崎市小中学校統合計画説明会での意見・質問と回答内容

No	発言内容	回答内容
150	○全国で子どもは減っているが、不登校やいじめは増えている。人数が少ない中で、統合し大規模にして、子どもたちはストレスを感じるのではないかと。人前で話をするのもすごく緊張する。学校の中で失敗をした、問題を間違った時、ちょっかいや笑によりいじめになる。やられた子は、学校に行きたくなくなる。	○いじめの定義が変わったため、件数は増えている。言葉をかけられた子どもが不快に感じればいじめになるが、本市では深刻な事案はない。学校の大小の規模に関わらず不登校はある。理由は様々あり、学校でも努力はしているが、学校だけでは解決できない部分もあるので、たいへん難しい課題であると認識している。
151	○小規模校の良さは、先生の目が行き届き、地域の人子どもに関わることである。子どもは、思春期には親ではなく地域の人に話をして気持ちも開放される。タブレットの使用により、オンライン授業で地域の良さを交流する、知識を深め合うことも可能ではないか。平成26年からいけば、時代も変化したと思う。	○子どもたちが地域と関わることで成長していくことは、その通りです。上分地区では「地域の宝」として積極的に学校に関わり育てていただいていることは十分理解をしています。その関わり方が統合することで無くならない手立てを考えていかなければならないと考えています。
152	○中学校を1校にすると、子どもたちに負担がかかり、学校に行きづらくなるのではないかと。転校できる環境を残しておくといいいのではないかと。	○中学校1校について、須崎中学校については津波の危険性から残せない、同様の理由で浦ノ内中学校、南中学校も残せないと判断した。上分中学校は、上分小学校が統合により存続することから、施設的に中学校を残すことは厳しい面があると判断したもの。5校を1校にすることで様々な弊害があるのではないかと、という指摘であるが、そういう状況を作らないように準備をしていくことが市の責任であると考えているので、理解をいただきたい。
153	○中学校統合は、生徒や先生のためという説明はよくわかる。統合は計画ありきなのか。上分中学校を残すことが施設的に厳しい理由を聞きたい。	○学校適正配置計画の基準に基づき、中学校1校、小学校5校が望ましいのではないかとというのが現時点での判断です。基本的にこの計画を進めていきたいと考えており、理解をいただくよう努めていきます。
154	○パブリックコメントで反対の意見が多かったと思うが。	○パブリックコメントは104件の提出であり、その中では反対意見が多かったのは、ご指摘のとおりである。
155	○民意は無視しているのか。	○無視でなく、説明会を開催して意見を伺っています。
156	○須崎中学校を浸水区域で外すなら、新図書館を浸水区域に建てるのはおかしいのではないかと。	○図書館を含む複合施設は市街地の振興という側面も含めて計画し進めています。学校統合とは別の考え方ですのでご理解をいただきたい。
157	○6月定例会で、教育長より「今ある意見の中に見直しを求めるものはなかった」との答弁がされ残念な思いがした。これまでPTA、保護者会、市政懇談会に参加してきた。他の地区でもたくさんの意見が出たと思うが、本当に議論に至る意見はなかったのか。このまま進めば行政不信が強まると思う。	○PTA、保護者会では賛成・反対・条件付きなど、様々な意見をいただいたが、総合的に考えたときに、現時点では統合計画を大きく見直す意見はなかったと考えている。
158	○今日の意見は議論にあげてもらえるのか。	○記録をしていますので、どのように進めていくのか整理をしていきたい。
159	○役員会ではコロナ禍なので質問が控えるようにと言われた中での説明会であった。意見を言えなかったこともある。	○今回、地区別説明会を行っている。またPTA総会、保護者会総会で説明し意見もいただいている。今後市政懇談会等もあるので意見を伺うが、理解をいただくよう努めていきたい。

須崎市小中学校統合計画説明会での意見・質問と回答内容

No	発言内容	回答内容
160	○民意は反映されていない。いとも簡単にHPに乗っていますというが、何故パブリックコメントを公表しないのか。	○パブリックコメントは個別意見は公表しないこととして募集をした。統廃合は大きな問題で意見も様々あると思うが、個人が特定されると書きにくい方もいると思われる。そうしたことで個別は公表していないが、概要については公表している。
161	○今日はソーシャルディスタンスができていますので、時間を言わずに延長してほしい。	(意見として聞きました)
162	○コロナ社会で中学生を一つに集める。集まった中学校で被災することもあると思う。密の回避という意味で中学校を2校か3校残し分散すればどうか。	○よりよい教育環境を整備するために統合していきたいという趣旨で考えると、現状の施設では上分小学校に統合し、中学校を残すことは無理があると判断をした。グラウンドや教室、体育館などが足りなくなると考えている。
163	○安和・新荘・上分で中学校を残すことは、保護者でも多い意見である。浸水区域を通過して通学しなくても、上分で適正規模を保てるが、施設的に無理という説明をしてほしい。	○施設に関する部分は、後日、公民館を通じて回答させていただく。 ※下記のとおり回答済。(R3.6.29付で上分公民館へ。8月号公民館だよりに掲載予定) ・統合後の上分小学校の玄関を、スクールバスの発着場所を考慮したうえで現在の中学校の玄関に移し、校舎全体のバリアフリー化を行う ・新荘小学校にある放課後児童クラブの存続を考慮し、そのための部屋の確保が必要 ・特別支援の教室の確保が必要(4部屋) ・校長室を職員室のそばに移動する ・その他、肢体不自由児童等の受け入れに係る設備改修
164	○人口減少を止めることも考えていかなければならない。Iターンで県外から来た。子どもたちも上分で世話になっており、ここにいたいと思うのは、素敵な所だからである。都市部にはない、小さな小中一貫校だからこそ、自分の子どもも目を止めてもらった。ここでしかない教育だ。子どもは高知市の高校に行ったが、友達もできて楽しく過ごしている。それは上分で育ててもらったからだ。1クラス4,5人のクラスは少ないと感じたことも、一定程度の人数が必要と思うこともあるが、大きい学校で切磋琢磨できない子もいる。「学校がなくなれば地域が廃れるという考えは短絡的ではないか」という議会答弁もあったが、大きな学校だから切磋琢磨できるというのは短絡的ではないか。他人の意見を聞くこともICTを使えばできるのではないか。小さな学校だから力を出せる子どももいる。大きな学校になじめない子どもが通える学校も必要。市政懇談会で教育長が「小規模校を否定しているものではない」と答えられた。ぜひ、上分に中学校を残してもらいたい。	○小規模校がダメということではなく、現実問題として児童生徒数が減ると教員配置が不十分になる。例えば、生徒13人の中学校で複式学級になると、教員が6人の配置となる。教科の数より教員が少ない状況になる。完全複式の小学校は教員が4人である。子どもたちに十分な学力をつけていけるのかという心配もあり、一定規模にする必要があると考えている。
165	○新荘・安和・上分が1校になれば、中学校で1クラス20人程度の適正規模になる。	(意見として聞きました)
166	○複式を悪く言うが、学力は大きな学校の方がいいのか。	○学力は大きいから良い、小さいから良いというものではない。

須崎市小中学校統合計画説明会での意見・質問と回答内容

No	発言内容	回答内容
167	○文部科学省が「学校統合は、地域住民の理解を得て進めなければならない」との通達を出している。市長は6月議会で住民の理解を得たことをどうやって判断するのかという質問に対し「常識的に判断する」と答えた。安和住民9割から存続の署名が提出されたが、常識的に考えると安和小学校は残るのか。残すべきではないかと考えるがどうか。地域住民も納得して統合を進めてもらいたいのので、意見を言えない人や、コロナ禍で会合には参加したくない人もいる。子育て中や仕事で参加できない人もいる。この計画のまま進めるのであれば、地域住民の理解を得たという材料としてアンケートを取ってはどうか。	○理解をいただくよう説明を繰り返していきたいと考えている。単純に多数決で決まるものでもないので、様々な条件の中で判断をさせていただく。
168	○中学校が統合してスクールバスが出ない場合、毎日となるときつい。部活動で遅くなると中学生には厳しい。	○通学については市内全域でスクールバスを検討することになっている。部活後は暗く、遅い時間なることもあるので、検討することになっている。
169	○統合計画資料に「児童生徒に望ましい環境整備」とあるが、子どもの声も聞き、本当に望んでいるのか調査をすればいい。	○子どもの声を聞くという意見をいただいた。少人数のなかで、ある男の子が「男子の同級生が欲しかった」という声もあった。皆がクリアに意見を持っている訳ではなく、言いにくい面もあると思う。そうした環境を考えることが市の仕事である。考えた内容について説明に回っている。反対の意見もあるので、持ち帰って策定委員会で共有していく。
170	○四万十市の統合計画ではスクールバスの時刻表まで出していると聞いた。保育園の通園バスの運行会社の確保も大変だったと聞いているが、本当に全域をスクールバスが運行できるのか。早く帰る、遅く帰る、土曜日の部活など、どうする計画か。	○色々な分野に保護者に入っていただき、検討していく部会を作るよう準備を進めている。色々なことを決めていかなければならないが、全て決めて示すのではなく、皆さんと一緒に作り上げていきたいと考えている。
171	○朝ヶ丘中学校1校になるとグラウンドも狭い。	○グラウンドが狭いということは認識しており、統合する場合は新たなグラウンドの確保を考えていかなければならない。
172	○上分はソフトボールがあるので、統合後はソフト部もできるのか。	
173	○中学校で現在各校にある部活動は統合しても存続されるのか。	
174	○スクールバスや校舎・施設について、具体的に示さないと意見が出ない。具体的な内容がないので、これでは賛成も反対も言えない人も多いと思う。	
175	○須崎市の総合計画の基本目標に新しい人流を作ると書かれている。令和6年度には150人、75家庭を受け入れるとある。統合ありきではなく地域を守っていかなければならない。総合的に判断したというが、この点が見えてこない。	(意見として聞きました)
176	○移住を促すなら企業誘致をしないと働くところがない。若い人が都会に行ったきり戻ってこない。他県のために教育予算を費やしているのか。企業誘致できないのは市の努力不足ではないか。須崎はしんじょう君ばかり。誕生日や年賀状、バレンタインなどやっている。海の街プロジェクトもそうだ。中身は何もないのに、納得できない。統合計画もそうだ。きちんとした説明もないのに納得はできない。	○指摘のとおり。帰ってくる方は県全体でも3割程度であり、人の流れは都会である。企業誘致の努力はしているが、様々な理由で実現していない。

須崎市小中学校統合計画説明会での意見・質問と回答内容

No	発言内容	回答内容
177	○須崎市は津波が来る。上分は来ない。朝ヶ丘中学校に通学する場合、浸水区域を通るので危ない。多くの保護者が不安を抱えている。考えを聞きたい。	○市内各地から通学するため、そうした状況がどうしても生じるが、自然災害は避けては通れないと考えている。そうした状況になった時に、自分の命を守る防災教育をしていくことに尽きると考えている。
178	○自己責任ということか。	○教育としてそうした力をつけることを学校でやるもの。
179	○防災教育はぜひやってもらいたい。黒潮町では保育から高校までそれぞれの年代でカリキュラムがある。	○防災教育については、その時の状況で最も適切な判断で命を守ることができると考えている。各校、それぞれで防災教育には取り組んでいる。
180	○上分にいけば大丈夫なので上分中学校を残してもらいたい。これは要望。統合計画を見直していただけるか。	○いただいた意見を踏まえ、策定委員会の中で議論していきたい。
181	○新庄・安和・上分で基準がクリア出来て残せるのであれば中学校を残してほしい。ここにいるほとんどの人が計画に反対ではないかと思う。「理解をお願いしたい」ではなく、この意見を検討していただきたい。このままでは理解はできないと思うので、検討していただきたい。	(意見として聞きました)
182	小学生の保護者ですが、中学校の感覚がまだわからない。吾桑は統合では今のところ変わりがない。	(意見として聞きました)
183	○統合でもいろんなメリットもあると思うが、一番大事なのは生活だと思う。通学時間が変わると忙しくなる。	(意見として聞きました)
184	○給食はどうなるのか。	○給食は、現在、須崎中学校と朝ヶ丘中学校が提供できていない。給食センターを整備する計画を進めている。令和7年度の統合時には給食センターを建設し、配送する計画である。
185	○先ほどの方は、給食がどうなるかを心配されている。別の人は通学やバスはどうなるかを心配している。計画にないまま統合を進めようとしている。順序がおかしくないか。だから皆が不安になっているのではないか。全てのを予算化して「この計画でいく。ご理解ください」ということが計画策定、計画推進で最も大事ではないか。肝心な部分が欠落しており、「まず統合」が先走りしているのではないか。	○全てを予算化して計画すべきとの指摘があった。統合ありきではなく、統合年度も遅めにしており、それまでに皆さんの要望や意見を聞きながら、より良いものを作っていきたいと考えている。スクールバス等も、庁内の「移動手段検討委員会」があり、その中で検討している。
186	○令和3年2月の計画(案)では小学校は3校が、8月に5校となった。2月時点の3校の際には、「学校適正配置計画」は念頭になかったのか。	○当初の3校がおかしかったのではないかとこの点については、「学校適正配置計画」に照らすとおかしかったかもしれないが、人口減少がかなり進んでいる現状を踏まえ、先に統合をした方がいいのではないかとこの考えであった。パブリックコメントで意見をいただいたうえで、現在の5校としたものである。

須崎市小中学校統合計画説明会での意見・質問と回答内容

No	発言内容	回答内容
187	○小学校を3校から5校にしたのは、パブリックコメントでの意見を参考にしたとの話があった。それならば中学校も変更しないと整合性が取れないのではないか。小学校だけ3校から5校にして、中学校は1校のままでは違和感を覚える。	○中学校は適正配置計画の人数に合わせていること、須崎中学校は浸水区域であることを考慮しているもの。須崎中学校は旧須崎高校の隣にある。須崎高校が統合する時、人数の点と、もう一つの理由として津波浸水被害があることを挙げている。高校がそうした理由を挙げていることから、須崎中学校をそのままにしておくことは住民感情からも厳しいものがあるのではないかと判断である。
188	○そうなる、須崎小学校も同時に見直さなければならないのではないかと。違和感を感じる。一つ一つを追究すると、ボタンのかけ違いが見えてくる。色々と説明されているが、おかしい所がたくさんある。矛盾の無いようにして計画にしてもらわないと、現状の計画では理解できない。	○須崎小学校の浸水区域ではないかという点はその通りである。計画策定の際には、須崎小学校では定期的な避難訓練もやっていること、学校のすぐ裏に避難場所もあり、避難者を受け入れる広さ等も確認している。浸水区域を全て外してしまうと、土地もない。矛盾を感じる点もあると思うが、十分に確認をしている。安全を確保して統合を進めていきたいと考えている。
189	○統合の話も聞いていたので理解はしていた。吾桑地区は保育園も統合されるということで存続運動もやってきた。市はお願いしますばかりで、中身が見えてこない。説明され、意見を言っても変わってないことが多くある。もっとメリット、デメリットが明確になった方が、説明を受ける側もわかりやすい。それが納得できないことだと思う。説明の内容、プレゼンの改善をした方が納得できる形になるのではないかと。	○教育委員会としては、統合計画は教育的観点で示しているもの。メリット、デメリットは見えない部分があると思うが、「統合準備委員会」を立ち上げたいと思っている。全校対象に保護者に来てもらい、意見を出しながら作っていきたくらいと思っている。説明会の途中で「準備委員会」を作ると『統合ありき』になってしまうので、説明会が終了したのちに「準備委員会」に進んでいきたいと考えている。
190	○小学校、中学校の適正化ということは理解するが、基本的に、地域の子どもは地域で育てていくべきと思っている。仮に小学校が複式学級になると先生の配置が減り、先生の負担も増える。先生配置基準は文部科学省の基準があるのか。県の基準や、教育委員会独自に先生を配置することはできないか。	○国、県の基準がある。独自での配置はできない。
191	○オンライン授業もあちこちで聞く。他県ではオンラインで一定規模の学校と繋がりを持ち、授業・交流をしているようだが、それらも含め、今統合なのか、何か手段はないのかを検討していけばどうか。	○オンラインも可能になったが、時数に限りがあり、学校間の調整も必要である。実施している学校はスクールバスも困難な山間部や離島の地域である。須崎市内は遠いと言われるが、時間的にも通学可能であり、子ども同士が互いに刺激をシェアして学びあっていくことが一番いいと思う。学校では授業だけでなく、修学旅行や団体行動などもあり、子ども同士が関わって成長できればいいと考えている。
192	○誠心誠意、説明をしてくれていることを理解したうえで発言する。教育委員会は、その後ろに子ども、保護者、地域の人がいるという観点が必要である。今の計画では、子どもや保護者、地域の人捨てられている気がする。	(意見として聞きました)
193	○統合対象の学校は不幸なのか。その学校に通わせている保護者は不満なのか。	○小さな学校の子ども、保護者が不幸や不満であるということではない。あくまでも、学校教育制度全体を考えた時に、小中学校の規模は、一定数以上いる方が教育環境としていいという判断である。

須崎市小中学校統合計画説明会での意見・質問と回答内容

No	発言内容	回答内容
194	○適正規模とはなにか。1960年以降国会で審議され、中教審でも審議されたが、いまだに結論は出ていない。以前、文部科学省が10人から18人が望ましいと言った時、その根拠を問われると「経験」だと言った。そこまで適正規模、学級数、生徒数にこだわるのであれば、教育委員会の考える根拠は何か。	○説明でも触れたが、「学校適正配置計画」を策定時の委員さんが作った根拠は、小学校では「複式学級にならない」ということであった。複式学級になると、2学年を1人の先生が見る。先生が苦勞し工夫して授業をしている。できれば単式学級にした方がいいのではないかと、ということをおも現場を見て感じている。「学校適正配置計画」の適正が、小学校では「複式にならない程度」と思っている。
195	○複式学級が教育環境にとって良くないのか。違和感を生じる。新莊小学校で映画のワークショップを手伝った。子どもたち、先生と交流したが、皆生き生きとして楽しそうな学校生活を送っていた。そういう所をあえてつぶして統合しなければならないのか。	○「解消しなければならない」と言うよりも「解消できるのであれば解消したい」という思い。「複式学級が悪い」と言うことではない。複式学級のある学校も含め、全校が落ち着いていい学校ばかりである。2040年には人口が半分になる予測で、人口減少に歯止めがかからない今後のことを考えると、学校生活で同級生がいた方が子どもたちにとってもこれから先もいいのではないかと、ということで統合を進めている。学校が大きくなるといじめや不登校を心配をされる方もいるが、小さな学校も同じであり、固定化された関係の中で学校に行けなくなったという事例もある。総合的に見て複式が解消される程度の学習環境の中で子どもたちを育てたいという思いである。
196	○6月議会で、文部科学省の手引きに「無理な学校統合がみられたことから、地域住民の理解を得て行うよう努めること」と書かれている。この会場でも、これだけの意見が出ているので、中学校を1校にまとめるのは見直していただきたい。	
197	○伝え方・進め方を、わかり易く具体的にしてもらわないと理解は得られないと思う。今は中途半端な計画内容である。執行部も「ご理解ください」しか言っていない。	○「統合準備委員会」も早めに立ち上げて、しっかりした内容が作れるようにしていきたい。
198	○地元の人が求めていることは、統合すればこの様になり、この様に子どもたちを守っていく。通学手段はどうするのか、給食はどうするのか、などである。具体的な説明があればよかった。手順として、まず現役の保護者の意見を聞いてみる。賛否があるのは当然だが、統合するのであれば、こうしてほしいという要望や意見を聞く。先に保護者と意見交換をして、わかり易い材料を作ったうえで説明をした方がスムーズにいくのではないかと。	○そうした指摘があることを踏まえて、具体的な内容についてできるだけ早く進めていきたいと考えている。
199	○統合した時のメリットを筆頭に作ってもらうと賛成もしやすい。次回の説明の際にはお願いしたい。	(意見として聞きました)
200	○準備委員会は「統合」という言葉をのけて、意見を聞く会にすればどうか。義務教育では地域にある中学校に行きたいということが保護者の考えだと思う。嫌なら私立という選択肢もある。生活のリズムも考慮して、今の保護者、これから中学校に行く保護者の意見も聞いて、意見を聞く方がガツガツせず、普通に意見を聞けるのではないかと。	

須崎市小中学校統合計画説明会での意見・質問と回答内容

No	発言内容	回答内容
201	○各校やPTAでどういう検討をしているのか。パブコメ実施時に、浦ノ内小、浦ノ内中に聞くと全く知らないとの回答で驚いた。小規模の課題について、教育委員会に話をした形跡を全く感じなかった。現場の声が全く聞こえていない。現場では工夫をしていることもあるし、改善もという声もある。そんな声を聞かれていないのか。	○直接、PTAに話を聞くことはしていない。H26年度に適正配置計画策定時に、PTA役員の方地域の代表者、教育関係者も含め、検討委員会を組織して数の基準を決めてもらった。教育委員会はその際に、学校名を入れた統合計画を策定したいと考えていたが、委員は地域の代表であることから、基準の数は示すが、その先は教育委員会の責任でしてほしいと指摘があり、H26年度はあくまでも基準の数を示したものとなった。その後、少子化の進行により、具体的な学校名を入れた計画を示したもの。かつては浦ノ内小と横浪小は保護者の希望により、複式になることを回避するために統合した経過もあることから、そうした考えの保護者もたくさんいると認識している。
202	○パブコメの意見を踏まえて統合計画を作っているはずだが、その意見をどういう風に理解しているのか。少子化の課題など、真剣に考えている人がたくさんいるが、少なくなったから統合、賛成・反対を色分けするのではなく、どういう風に子どもたち、学校教育を深めていくのかをどう議論をしたのかを、きちんと話をしてほしい。数だけの話はやめてほしい。	○説明でも触れたが、伝わらないか。⇒はい⇒パブコメをいただき、見直した部分もある。津波被害が心配であるので、須崎小学校への統合はどうか。という意見に対し、考慮して上分小学校を残すという判断など、計画(案)から変えた経緯はある。
203	○小規模をどう考えているのか。複式学級を単純に否定をするが、高知県に190校の小中学校のうち、73校の小中学校を否定する判断である。中学校108校のうち、52校を否定する案である。複式には複式の良さがある。それなのにこの計画。現場は同じ考えか。	○小規模校を否定しているものではない。小規模の良さがあることはおっしゃる通りであるが、複式学級を解消するもの。学校生活は団体での取り組みが多い。合唱、運動会、英語での会話を友達同士でやる…。いろんな場面で友達と関わりながらやるのが学校でできる教育だと考えている。小規模を否定していないし、言った覚えもない。
204	○須崎市に住むことを否定する人も多くなると思う。これほど教育を否定する計画は受け入れられない。	○複式の良さもある。2学年一緒にやるが、例えば1年生を先生が教えると、2年生は自分たちで学習する。自立性が身につくという意味では良い所はある。なぜ解消するかと言うと、1限の間は先生が付ききりで、その学年に集中して教えることが子ども・先生にとっていいのではないかと、いう考えである。その適否は個人的な判断になると思うが、教育委員会としては解消できるのであれば解消したいというもの。
205	○意見を伺うとの説明だが、今日も見てのとおり、これ位の人数しかいない。話を聞きたくても来られなかった家庭や、知らないという人もいる。インフォメーションができていたのか。これ位の人数に説明をしたところで、浦ノ内全体の意見を拾えるのか。	○公民館だよりでのお知らせと、前日に防災無線でアナウンスをした。地域のだけでなく、保護者会、PTA総会に回っている。全員の都合の良い日の設定は困難であるが、できるだけのことにはやっている。
206	○時間帯を変える、休日に行くことも可能か。	○要望があれば出向く。
207	○計画はこの年度に統合するとして進行していることで間違いないか。	○計画の目標年度に向けて進めるということを決めて説明をしている。
208	○話し合いの中で、計画の年が伸びることもあるのか。皆の話を聞いていく中で、うまく話が進まない時は、目標年度を1年遅らせることも考えているか。	○意見は色々あると思う。人口減少が止まらない状況で、中学校でも複式があることから、教育委員会としては計画通りで進めたいと考えている。

須崎市小中学校統合計画説明会での意見・質問と回答内容

No	発言内容	回答内容
209	○浦ノ内小学校PTA総会で不登校、不登校傾向の子どもたちの居場所をどうするか、という質問があり、「学校の大小を問わずあり、初期の対応が肝心である」との回答であった。具体的に施設等があるのか。	○不登校は全国的な問題、大事な問題である。学校では、令和2年から校務支援システムという端末により、子どもの登校状況が分かり、それを先生が情報共有している。どの子どもが何日来ていないなどを把握、共有できるようになった。そうしたものを活用し、全員で目を光らすことを現在もしている。登校渋りが始まった頃の初期に、先生方が関わる。原因も家庭の事情、子ども自身の問題など、色々あるが、学校として子どもたちに早く関わり、まずは不登校にならないようにしようとするのが第一。どうしても不登校になった場合は、教育支援センターを設置しており、居場所となっている。学校に行けない子どもも、支援センターに行けば出席日数にカウントできる。どうしても場合は、教育支援センターへの通室も手だての一つである。その他、SSWやSCなど、色んな人が支援の手を差し伸べて、子どもに合った支援をしているのが現状。ICTを自由に活用できる居場所を現在、整備している。どうゆう状況であっても、自分の能力、才能を見つけてもらえる手だてをしていきたい。
210	○初期対応で保健室や別室対応の子どもたちがいると、先生が1人配属となると、先生の負担も大きくなる。支援センターへの通室手段は。バスはあるのか。	○別室登校への対応は、市で教育支援員を雇用して入ってもらっている。先生だけの荷重にならないようにしている。支援センターには、現在は手だてがないので、保護者に積んで来てもらうか、自転車で通っている。今後、通室する場合の対策を講じなければならないと考えている。
211	○不登校の課題について。子どもの学び、授業の時の子どもと先生との関係、信頼関係は重要だ。大小だけの問題ではないことも承知している。子どもたちが困難に出会った時にしっかりと一人ひとりに寄り添うことは大事。小さい学校ならそれができる。じっくり向き合える。	○現在の人数では、取組もできているが、説明で述べたとおり、人口減少に歯止めがかからない状況である。浦ノ内小学校の1年生になる人数も、来年13人、以降10人、8人となる。今の状況が保てないことになり、現在からお願いしている。浦ノ内中学校の良さに触れてもらい、愛されている学校であること再認識した。全く異論はないが、今後を考えて人数が減りすぎると、保てなくなることからお願いしている。
212	○中学校の統合に関しては、浦ノ内から通う子どもが一番遠いと思う。近くの子どもは負担感を感じないと思うが、遠くから通う子どもには、通学だけでも負担が出てくる。その点への配慮についてどう考えているか。不登校の子どもが通う支援センターも、中心部に1カ所なと思うが、それもしんどい子どももいるのではないか。統合すると、色々子どもたちの問題が出てくる。浦ノ内も、保育園、小学校と統合をしているが、子どもたちはそれなりにしんどかった部分があると思う。子どもたちの意見を聞くことも大切ではないか。	○一番遠いことはその通りである。それで体力が奪われることがないように、スクールバスなどきめ細かな通学手段を考えていきたい。昨日の説明会でも、スクールバス等具体的な説明がないという意見もあったが、教育委員会としては統合に向けて意見を細かく聞きたい、という思いがある。計画の目標年度は決めているが、それに向け保護者やPTA、学校関係者なから意見を聞きながら、どうすれば一番いいのかを一緒に考えていきたいと思っている。そうした委員会も立ち上げたいと思っている。

須崎市小中学校統合計画説明会での意見・質問と回答内容

No	発言内容	回答内容
213	<p>○自分は小中大さい学校で育ったが、浦ノ内に来て浦ノ内で子育てができて良かった。子どもも県外にいるがお盆や正月には浦ノ内に帰ってきて地元でワイワイやっているのが生きる力になっている。子どもが小中学校時代の子育て時には悩むことも多かったが、近くの保護者のみんなと相談しながら子育てができた。何とかやってこれた。中学校が1校になった場合、地域で子育てをしている実感がなくなると思う。確かに子どもたちがたくさんいる中で育つ力になると思うが、小さいから得られるもの、子どもたちが根を張って生きていけることもあると思うので、少ないからと数だけで切ってしまうのは、不登校は初期対応が大事。地域に学校があれば、すぐに先生が家庭訪問できる。寝坊、家族との喧嘩、友達との関係で出てこれなくなった時に、先生がすぐにきめ細やかな対応をしてくれる。それが大きな学校となりできなければ、引きこもっていくのではないかと心配する。</p>	<p>○現在の人数では、取り組みもできているが、説明で述べたとおり、人口減少に歯止めがかからない状況である。浦ノ内小学校の1年生になる人数も、来年13人、以降10人、8人となる。今の状況が保てないことになり、現在からお願いしている。浦ノ内中学校の良さに触れてもらい、愛されている学校であること再認識した。全く異論はないが、今後を考えて人数が減りすぎると、保てなくなることからお願いしている。</p>
214	<p>○小さい学校は先生のフットワークが軽いというメリットもある。小さい学校であれば、英語教育では子ども一人ひとりが声が発する機会も多くなる。より会話の場面も増える。少人数でもICTを使って、隣同士で資料交換をして成果をあげている。部活動も連合チームで準優勝した。工夫次第で少人数でもやっていけることはある。私は統合してほしい。</p>	<p>○小規模の良さを否定しているものではないので、誤解しないでほしい。今、南中学校は生徒数13人、2クラスで教員が6人。教科の半分しか教員が配置されない。これで子どもたちに必要な学力をつけられるのかを心配している。例えば、英語と体育、美術などを担うことが現実として起きている。これは教員への負担にもなっている。安和小学校2年生は1人。新荘小学校も2人。その規模が普通になった時、小規模で可ということでも学校を存続できるか。小規模は小規模の良さがあることはその通りだが、1人、2人でも学校を置いておくか。そこに何らかの基準・目安があり、将来的にどうしていくのかを考えていくべきであるという一つの計画として示している。</p>
215	<p>○各学校で少人数で取り組んでいることもある。地域でしっかり人間関係もできている。統合前提に話すのではなく、計画を一旦取り下げて、学校の規模や在り方を話し合う機会を持ってもらいたい。パブコメの際に教育委員会に行き、この計画をだれが作ったのかを問うと、「南地区で大反対を受けたので、この計画を知ってもらって意見を広くもらいたい」といった。反対している奴が何を言っているのか。にしか聞こえなかった。もっと積極的に学校の在り方を語れるような会を持ってもらうために、計画を撤回してほしい。現場の先生の意見が全くない。現場の在り方を語りあう場が必要だ。</p>	<p>(意見として聞きました)</p>
216	<p>○準備委員会と言っていたが、準備委員会とは何か。公民館だけでなく、各集会所にも細かく回してほしい。小学校統合から10年も経っていないが、統合に関して合意を得るのであれば、各部落で意見を聞いてもらいたい。この後は、次の準備段階になるという判断はやめてもらいたい。</p>	<p>○様々な考え方もあり、市民からの様々な意見を聞いた上で、改めて整理をし判断したい。そのために順次説明をしている。</p>

須崎市小中学校統合計画説明会での意見・質問と回答内容

No	発言内容	回答内容
217	<p>○6月11日の市議会一般質問で、「市民の理解と協力をいただくことをどのようにお考えか。きっちりとした考えをお示してください」との議員の質問に、教育長は、「現時点で見直しをするようなご指摘はいただいている、と認識している」と答弁された。激しい憤りを覚えた。私は高知新聞にもこの問題について投稿している。教育長もご覧になっていると思う。市政懇談会でも直接、意見をさせていただいた。行政相談でも意見を伝えてもらっている。保護者会でも意見をしたらという保護者の話も聞いている。しかし、教育長は「見直しをするようなご指摘はいただいている」と言っている。議会でも市民団体「須崎市の教育を考える会」という活動で様々反対の意見を言っていると紹介されている。事実上、たくさんの反対の声が挙がっている。しかし、教育長は市民の声を撲殺した。重大なコンプライアンス違反である。到底、感化できるものではない。須崎市職員の倫理規則第4条・第5条には、「職員は、市民全体の奉仕者であることを深く自覚し、自らを厳しく律することによって、市民から信頼される職員となるよう不断に公務員としての人格と倫理の高揚に努めるとともに、常に公正な職務の遂行に努めなければならない。」「管理職員は、公正かつ適正な市政運営を図るために、その職務の重要性を自覚し、率先垂範して行動するとともに、所属職員の公正なサービスの確保に努め、適切に指導監督しなければならない。」とある。教育長の6月議会での発言は、この倫理規則に著しく反するものである。行政による市民への暴力である。公務員、管理職である立場をわきまえない発言であると言わざるを得ない。教育に携わるものとして、市民の声に耳を傾けることをなくして、どうして子どもの心に寄り添うことができるのか。大人は言葉で表現できるが、子どもは非言語でのサインが多い。実際的な言葉を無視するような人が、子どものことを真剣に考えることができるはずがない。教育長の議会での発言に対し、須崎市に強く抗議するとともに、教育長に市民に対しての謝罪を求める。教育に携わる者として、猛省されることを強く促す。6月議会での「学校統合についての市民の理解を得ることについて、何をもち地域住民の理解と協力を得たと判断する考えか。」との議員の質問に、市長は「常識的に判断する」と答弁された。これまでの学校統合問題について、行政と市民との間の常識にズレがあることは明白な事実である。見直しを常識で判断するとすれば、安和地区の9割が反対の署名をしている現状だけでも、見直しに十分な材料である。「須崎市の教育を考える会」でも署名活動を行っているが、現時点で相当数の署名が集まっている。上分、吾桑、浦ノ内での説明会でも多くの意見が寄せられたのではないか。見直しをせざるを得ない状況ではないか。これでもなお「見直しが必要があるような意見はいただいている」と言うつもりか。とすれば、須崎市教育行政の考える常識の定義とは何なのか。市民無視、議会軽視のコンプライアンス違反を普通に行うような教育行政による小中学校統合計画では、何度ご理解くださいと言われても、同調することできない。計画内容以前の話。今一度ゼロベースでの学校統合の再検討を、各地域住民を交えて、時間をかけて行うことを願います。</p>	<p>○表現が不適切であった点は深く反省をしている。「見直しが必要がない」という表現になったことが言い過ぎであるという指摘はその通りかもしれないが、これまでもPTAの代表や市民の各団体代表などの意見を聞きながら、須崎市独維持の基準を決めて、それを基に学校統合を考えてきた。説明でも触れたが、教育については様々な意見がある。反対の方もいるが、賛成の方もいることも事実であり、総合的に踏まえ、今後も説明をしながら理解をいただくように努力をしていきたいと考えている。</p>
218	<p>○賛成もいるとは思っている。パブコメも募集したが、その多くが、過半数が、大多数が反対だった。その点についてはどうか。</p>	<p>○100少々のパブコメをいただいた。その中では反対という意見は多かったということである。それをどう評価するかについては、色々考え方があろうと思う。1,000人以上の子どもたちがいて、保護者、地域の方がいる中で、100少々の意見をどう評価するかについては意見もあると思う。</p>

須崎市小中学校統合計画説明会での意見・質問と回答内容

No	発言内容	回答内容
219	○100少々というが、募集期間は1カ月だが、正味2週間。募集の仕方も広報、インターネット、限られたもので、市民の大多数が知らなかった。そんな中で100くらい集まり、その多くが反対であった。それを汲まないでどうするのか。何のためにやったのか。やはり形だけだと受け止める。その点もしっかり考えていただきたい。	○各地域で説明をしており、その中での意見を踏まえ、一通り説明が終わった時点で、今後の進め方について検討していきたい。
220	○上分でも言ったが、そういう言い方をするから、皆納得できない。なぜ市民に寄り添う言い方をしないのか。少数意見はどうでもいいのか。真摯に受け止めろと言われていたのではないのか。少数意見も聞いて、真摯に答えろ。そんなことだから埒が明かない。住民の理解を得ることができない。須崎市はワクチン接種をオリンピックの受入れ関係者に黙って接種している。住民に説明もなく。市長と住民のどっちを向いて仕事をしているのか。きちんと住民を向いて仕事をすれば、全員ではないが納得してくれる。	○不透明なことはしていない。
221	○私なりに調べたが、平成26年度から話し合いが行われたことは、新聞記事や資料からは読み取れる。ただ市民がどこまで知っていたか。統合に向けて検討していきますよ、くらいの話で、具体的に策定委員会で何が行われてきたかは市民は全く知らない。議会で議員が策定委員会の内容を紹介していたが、市民はどう思うか、という内容であった。それを明らかにしたうえで、統合の是非を問うてもらいたい。そこが私たちは不透明であると思っている。	○平成26年策定の学校適正配置計画については、議会で説明し、内容も公表し、資料についても公開をしている。不透明の指摘がよくわからない。
222	○孫が3人いる。この統合計画では中学校3年と1年の時に統合になる孫がいる。自分は孫の命を守るため日々行動している。孫が困った時に学校にすぐに行けるために遠方へは出かけない。すぐに行ける体制を取っている。	(意見として聞きました)
223	○統合に反対の意見である。新莊、安和から上分に行き、上分中を残してもらいたい。命を守るために残してもらいたい。坂ノ川に津波から逃れるために引っ越して新築した人もいる。清坂トンネルを抜けて登校することは命に関わる。毎日の安心、安全が保障できない。東北大震災により市の指導で、学校での避難訓練、地域での防災訓練により自分の命を守るために、地域の命を守るために、日々考えて生活している。専門家ではないので、教育的な部分はわからない。命があってこそその勉強、教育である。命が脅かされる、安心、安全が保障できない所へ孫を行かせたくない。上分に中学校を残してもらいたい。昨日、坂ノ川部落の役員会があって聞いてみた。多ノ郷は津波がくるだろう。港の木材はどうなる。ワイヤーもあるがどうなる。それは浮いたら大変になる。大間の方は大変になると思う。上分中学校を残せば、朝ヶ丘中学校へ行きたくない人も学校を選べる。命を守るため、上分中学校を残してほしい。	○上分・安和・新莊の小学校3校を統合する際、現在の上分小中学校を改修して、バリアフリー化やエレベーター設置など、学校施設の充実を考えている。そうすると、中学校が残すことは難しいのではないかと判断している。意見も踏まえ、今後検討するが、せつかく統合する以上、子どもたちによりよい環境を整備することが大事になってくる。
224	○より良い環境とは何か。朝ヶ丘中学校へ建て直すのか。	○中学校は、教室の整備、エレベーターの設置、バリアフリーなどの施設の改修・充実はやるようにしている。敷地の問題から、全てを建て直すことはできない。
225	○上分中学校は残してもらいたい。朝ヶ丘中学校への通学は道中がとにかく危ない。行かせたくなかったらどうしたらいいのか。	○地震はいつ来るかわからない。通学路が浸水する問題だけではないかと考えており、どういう状況でも大きな地震に遭った子どもたちが、自分の命を守る行動ができるように防災教育をきちんとやっていくことが何よりも大事であると思っている。

須崎市小中学校統合計画説明会での意見・質問と回答内容

No	発言内容	回答内容
226	○避難所もまともになく広域避難しないとイケないのに、よく防災教育ときれいごとばかり言える。	○津波が来て一時的に避難する場所は確保できていると思っている。広域避難はその後の生活を保つことであり、分けて考えていただきたい。
227	○道路が寸断されたら広域避難は無理だ。	○別の機会にしてもらいたい。私が答えることができない問題である。学校統合と避難の問題は別。学校でやっている防災教育のことを言っている。
228	○市長が「常識的に判断する」と答弁したことについて、教育長の見解を伺いたい。市民からたくさんの反対意見が出されている状況では、見直さざるを得ないと思うが、見直しすることはないと言う。教育委員会の見解を教えてください。	○各地区で説明を行い意見を伺っている途中である。一通り終わり、意見を踏まえて今後の進め方について考えていきたい。
229	○今時点では見直さないということはない、ということですね。	○様々な意見をいただいている。賛成、反対、統合の形、様々な意見をいただいている。各地域で聞いたうえで、今後の進め方について検討していく。
230	○何か、はぐらかされているような気持ちになる。だから計画に対して納得する気にならない。教育長の姿勢は大きなポイントだ。教育長の姿勢は子どものことを真剣に考えているように思えない。教育者としてどうなのか。よく自身で考えていただきたい。	(意見として聞きました)
231	○新荘から上分に行きたいと言っても、上分が統合賛成なら新荘住民が上分を残してほしいと言ってもおかしい話になる。上分での説明会の状況はどうだったのか。	○上分は反対だった。
232	○上分の説明会でも新荘・安和・上分で中学校を統合すればどうかとの話が出た。新荘の避難所は上分小中学校、上分公民館である。避難所と統合場所は別に考えてはいけない。	○仮に新荘地区の避難場所として上分小中学校が指定されているとして、全ての人が収容できるだけの規模があるか、たとえば、また別の議論となる。とりあえず新荘の方は上分に行くということになっているのかもしれない。様々な課題があるので、広域避難という形も検討されていると思っている。
233	○新荘各地区に避難場所はある。ただ高台の公共施設がない。上分に新荘から避難するということは、公民館長や自主防災組織の役員という立場でも聞いたことがない。(No 232の意見に対して発言)	
234	○安和小学校の統合に関しては、保護者で話もして署名集めも地域でさせていただき、小学校を残してほしいという意思を伝えた。その気持ちに変わりはない。取り組み内容についても最新のものを取り入れるという提案があった。安和小学校と地域とが一体となって、この地域を舞台にし、地域の歴史から地域の産業、近所の方の顔がわかる状態で、身近なものを題材にした学びを、先生や地域の皆さんと一緒に子どもたちに教えてくれている。この環境は子どもたちにとって良い学びになる。安和地区に愛着、愛情を持つという心が育まれていると感じている。そういう意味でも、この環境をどうにか残してほしい。	(意見として聞きました)
235	○教育論は法改正などもあるだろう。住民会議としては、昨年11月までにまとめた地域の要望として640筆を市に提出したが、それはどのようなになっているのか。	○要望としていただき、学校教育課で内容も確認した。まだ地区の説明会が終わっておらず、説明会が終わった後に、地域から出た意見も踏まえながら、それも考慮したいと考えている。

須崎市小中学校統合計画説明会での意見・質問と回答内容

No	発言内容	回答内容
236	○市教委は、パブコメの意見を受け、それを基にして小学校の統合計画を変えた。柔軟に対応してくれたと思っている。四万十市の統合説明会に出たことがあるが、統合のバスの路線まで決めており説明会ではなかった。須崎市は地域の住民の声を聞いて決めようとしているので、その点は評価した。	(意見として聞きました)
237	○統合計画と比べ、今日の説明は非常に言葉が足りていない。統合計画には小規模のメリット、デメリットもや、統合の問題も書いている。今回の説明は「数字上こうです」という説明だけだ。安和小学校は教職員と地域だけで取り組みができています。安和小学校は誰が見ても素敵な学校だと誇りに思っているが、それについて言及がない説明会は不満だ。行政の方針と違うのではないかと。もう少し丁寧に説明してもらいたい。	○統合計画についてはQRコードを読み込んでいただき、ダウンロードしていただきたい。今日はコロナの状況から時間の制限もあり、簡易資料での説明となっていることをお詫びする。
238	○2015年に文部科学省が手引きを出している。1～6章までであるが、1、2章には今説明のあった統合に関することを書いている。3章では住民の合意を基にしない、と書いてある。4章では小さい学校でも存続する時はこうしたことを考えなさいということを書いてある。文部科学省は3、4章で地域の合意を大事にしないという留意点、またどうしても統合をしない学校は、こんなことを考えなさいということを書いてある。第5章は休校した場合の再開に関する事について書いている。第6章は県の助言について書いている。集落活動センター開設の時に、前尾崎知事と何回も話をした。安和小学校を残してくれないと集落活動センターをやる意味がないと訴えた。知事は統合問題は慎重に考えると言ってくれた。県としても応援したいと言われた。地域の思い、安和住民の約9割が、地域住民を挙げて残してもらいたいと思っている。	○小規模や大きくなった時のメリット、デメリットは色々ある。市としては、安和小学校が皆さんから愛されている、素晴らしい学校であることを十分承知したうえで話をしている。統合計画のもとになる基準となるものを作ったのは、当時の地域や保護者の代表であり、その基準を使っている。
239	○ICTは、文科省が小規模校を残す時に活用しなさいと書いてある。特に複式学校のデメリットの部分に活用しなさいと言われている。デメリットの部分はわかっているが、今はたまたま完全複式であるが、次年度以降は4学級になる。学校の状況や地域の取り組み、デメリットだけでなくメリットを基にして、配慮しなさいという文部科学省の方針に従ってもう少し配慮ある説明をしてほしい。	○ICTを使うと小規模でもできることはその通りである。小規模校がオンラインでつながることも可能であるが、須崎市内在近いので、統合して一緒になって、子どもたちが生の声で触れ合い、色々な意見を聞きながら作り上げていく授業も推奨されおり、新学習指導要領でもその内容になっている。そのため、こうした環境を整えるために提案している。
240	○文部科学省の基準に、地域合意を得ることと書いているので、特例ことについては教育委員会に考えていただきたい。小規模校を残す特例の中に、地域に支えられた学校を残すためにという項目で、コミュニティ・スクール(学校運営協議会)で地域が学校を支えている学校については残してもいいという文言がある。そうしたこともあって、安和ではコミュニティスクールをやっている。年間30万円程の市予算もありがたい。また、今年度から放課後子ども教室も始めた。教育委員会に援助してもらっているから、一方的に教育委員会に対してダメと言っているものではない。そうしたことも含めて、安和地区では自分たちで努力しながら学校を考えていきたいと思っている。今までの他のことも併せて検討してほしい。地域合意についても考えてほしい。	(意見として聞きました)

須崎市小中学校統合計画説明会での意見・質問と回答内容

No	発言内容	回答内容
241	○市から統合するというのではなく、地域や保護者が限界とってから統合するのはどうか。色んな面で協力してみんなで盛り上げていこうとしている。親が学校の様子を見て統合すればいいんじゃないかと思うのであれば統合してもいいと思う。いろんな形で心配も増えると思う。親の気持ちや地域の気持ちを大事に考えてほしい。	○小学校統合の目標年度は令和10年度開校であり、今日明日にどうにかするというのではない。目標年度はあるが、先の状況が変わることもある。例えば安和地区が頑張って取り組み子どもが増えた時は、計画の見直しもあるが、今の計画は基準としてできているので、基準を変えることはない。令和10年までに変化があれば対応させていただく。
242	○地域性を考える必要がある。子どもが低学年ほど親元にいることがいいと私は考えている。Uターン的人也多い。地域で育まれた良さがあるからこそである。上分に通うと、安和のことを認識もせず離れていくことを心配する。そういうことを配慮して取り組んでいただきたい。存続の具体的な方法について検討したことがあるか。	○地域性で言えば、どの学校も地域に大切にされ、子どもたちの教育環境を支援していただいている。安和小学校は教員は4人しかいない。校長、教頭、教員が2人である。複式学級の良さはあると言いながら、教育の質を保っていくためには、基本的に厳しいのではないかとということが、現時点での私どもの判断である。
243	○津野町に若い人が流れていると聞いている。それは教育支援が充実しているということだと思う。具体的な対策を講じているのか。須崎市は若者定住対策や、須崎市の人口を増やしていく計画はあるか。人口が増えると交付金が増える。そうすると給食費に回す対策もできるのではないかと。我々も考えるが、市でも具体的に考えてほしい。	○教育委員会として移住について特別に取り組みはしていないが、元気創造課を中心に移住政策について取り組んでいる。7年先には統合をしたいという目的を示したが、状況が変化することがあれば計画を見直すことも含めて総合的に考えていかなければならない。
244	○今後のスケジュール感はどうなっているのか。	○まずは中学校を統合したいと考えている。中学生は、高校、大学、社会人へと繋がる学力の形成にとって大事な時期である。例えば令和3年度の南中学校は生徒が13人で2クラス。教員が6人しか配置されない。教科数の先生もいない。なるべく早く中学校の統合をやりたいと考えている。
245	○中学校は1校の目標であるが、文部科学省の基準からしても2校でいいのではないかと。1校の理由は津波の問題があるためだと思うが、なぜ津波浸区域でない所に建設しないのか。	○指摘のとおりである。統合に際して新校舎を建設すれば理解を得られやすいかもしれないが、現実的に須崎市が津波浸水区域外に学校を建てるだけの用地がないと考えている。高台等も検討はしているが、進んでいないためやむなく1校という選択をしている。
246	○学力問題について言われたが、統合した方が小規模より学力が上がるのか。土佐清水市での統合では大変であったと聞く。	○学力は大小ではない。大きくても良い学校も、小さくても課題がある学校もある。一定規模の学校にしないと、十分な教員が確保できないので、教育条件が担保されない。
247	○賛成はしていないが、安和小学校と新荘小学校は上分小学校に統合する計画となっている。そうすると、上分中学校を残すと十分な数になるのではないかと。	○上分中学校を残すという指摘もあったが、その点も検討した。上分小学校に安和、新荘を統合すると計画にした時に、これからの時代に適応した学校施設に改修する必要がある。バリアフリー化、エレベーターの設置、放課後児童クラブのスペースなど、課題がある。その改修を行うとなると、現状では中学校を残すことにはなりにくいというのが、現時点での判断である。
248	○小中一貫校は学力が高いので、上分も浦ノ内も小中一貫校で残せばどうか。地域性の問題も解決するのではないかと。新荘川沿いの上分に1校、海沿いの浦ノ内に1校、街で朝ヶ丘の3校にし、学校選択制で希望すればどこにでも行けるよう柔軟な対応ができないか。	(意見として聞きました)

須崎市小中学校統合計画説明会での意見・質問と回答内容

No	発言内容	回答内容
249	○ふるさと納税を使って改修できるのではないか。何に使っているのかわからない。	○お金の問題ではなく、敷地の問題。校舎を含めてギリギリの状態増築が難しい。小学校をより良い教育環境の改修をすれば、中学校を残すということは厳しいと判断している。
250	○先日聞いたことで聞き漏らしたことがある。市議会における教育長のコンプライアンス違反の発言について認め、市民に対して謝罪してくれるのか。特に、安和地区の署名が出された後の発言である。	○私の発言については、そういう指摘があることは深く反省しなければならないと考えている。その部分だけを捉えてではないと考えているのでご理解願いたい。
251	○児童はどの教科も好きで得意であるわけではない。また、発達障害やいじめ、不登校の問題もある。計画にはその子たちに対する対策が示されていない。どう考えているのか教えてほしい。	○発達障害や不登校については統合とは関係なく、必要な子どもたちに必要な教育を提供することが市の責務である。どの学校でもきめ細かく適切に努力をしている。
252	○コンプライアンス違反は認めないということでもいいか。市職員倫理規則の第5条に違反したと思われるが、認めないか。	○その話は場所を改めてもらいたい。今日は安和地区の皆さんに統合についての意見を伺う場である。別途機会を設けてもらいたい。
253	○不登校などは統合すれば顕在化するので計画に入れないといけないのではないか。	○学校規模の大小でもなく、統合する、しないも直接関係ないと思っている。不登校、発達障害の課題を抱えた子についても、学校の大小に関わらず、学校に在籍していることが実態である。
254	○上分は津波の心配がない。今、新荘で少し心配している。孫は上分保育園、新荘小学校、須崎中学校、高知の高校に行っている。統合計画では、須崎中学校の生徒を朝ヶ丘中学校に行かせようとしている。危ないところを自転車で行かそうとしている。スクールバスかどうかもわからない。朝ヶ丘中学校に行かせることは不安だ。行かない方法がないものか。改めて道を見た。本当に遠い。スクールバスであろうと、なんであろうと遠い。反対がある事業はどこかに問題があると思う。命がかかっているのに、すんなり受け入れられない。安和住民の意見を聞きたいので本日は来た。今、小学3年生の孫が中1になるときに統合となる。普通に考えて危険な場所へ移ってと言わないと思う。	○通学は、皆さんの意見を聞いて作り上げていきたい。スクールバスもどうすれば安全に走らせることができるかを議論していきたい。貴重な意見として伺っておく。
255	○資料7ページ「須崎市を知る」という項目での質問。「地域で学び地域で育む」ということだが、地域には今、祭りがある。祭りの日については、学校を代休とし、平日に休みを取ってくれている。学校も協力してくれている。小中学校が一緒になって、大谷、野見は地域の祭りを大事にしてきている。多ノ郷、朝ヶ丘に統合した場合、学校としてどうやって地域の祭りに取り組むか、考えを教えてください。	○地域の伝統的な祭りに、子どもが参加できる仕組みについて考えていかなければならない。説明の中で、地域学習に触れたが、地域を知ることが子どもたちが主体的に取り組んでいくような仕組みを考えていきたいと思っている。具体的には学校・地域に相談をさせていただく。1年間に多くの日数があるので、学校全体の日程調整の中でやりくりをすることになる。
256	○行ってみないと、やってみないとわからないこともあると思うが、子どもたちも減ってきているし、祭りも大事にしないと無くなっていく。祭りだけというわけではないが、地域としては大事な伝統行事である。その伝統行事がなくなるということは、須崎市も廃っていくということである。	○伝統的な祭りが続いているが、既に継続が難しくなっているものはいくつかある。学校が地域に住んでいる子どもだけでなく、近隣地区の子どもたちも参加するという授業をやっている所もある。伝統を守る意味で学校も協力をしている。「伝統行事が無くなるから子どもがいなくなる」ではなく、「子どもたちがいなくなったから担い手がいなくなっている」。学校が外になっても、子どもたちは地域に帰ってくる。地域の伝統を守るために、子どもたちが参加をして学んでいくというスタンスは変わらない。地域の伝統を守らなければならないことは教育委員会としても考えている。

須崎市小中学校統合計画説明会での意見・質問と回答内容

No	発言内容	回答内容
257	○統合に理解ができない所もあり、統合自体に反対で賛成できない部分がある。少人数でも小学校だけは残してもらいたい。子どもたちが巣立ち、帰ってくる場合に、学校がないと子育てができない。保育もなくなり、小学校まで無くなってしまったら、地域から出て行って生活しないと子育てができなくなると思う。余計に少子化になるのではないかと思う。	○今現在でも少子化が進み、歯止めがかからない中で、何を最初にするのかを考えた時、集団学習という学校生活の環境を整えたいというもの。
258	○上分や南中学校は給食があるが、統合になった場合どうなるか。	○統合目標の令和7年度までには給食センターを整備して、給食が提供できるよう準備する。
259	○場所はどこか。	○まだ用地が確定していないが、多ノ郷地区で検討中。場所を示せる段階ではないので、明らかにできる時期になれば明らかにする。
260	○給食センターの給食は全体か、自分たちだけが対象か。	○将来的には給食センターから全学校に配送となる。現状でも調理員の確保が難しく、今、安和と新荘は須崎小学校から配送している。もう少しすると、吾桑と南に多ノ郷小学校から配送することをお願いせざるを得ない状況であると考えている。時期が明確になれば、別途相談させていただく。
261	○中学校の統合について、学校に行きにくい子どもたちのために、1校ではなく2校、3校で選択できる考えはないか。	○その意見もよく聞く。今も全国的に不登校の問題がある。大小関係なく問題である。「不登校になった時にどう対応する」ということもあるが、なる前が大事であると考えている。不登校になる背景について、何年もかけて教育研究所で研究してきたが、子どもの資質だけではなく、家庭状況など色々な要素がある。一番大事なことは初期対応である。子どもがその状況になった時に、どう対応するか、どう支援するかが大事であると考えている。なるまで置いておくとは考えていない。須崎市では教育支援センターで中学生を受け入れているが、初期段階では朝ヶ丘中学校や須崎中学校でも、先生方が力を入れてフォローしてくれている。小規模校では大丈夫かという、それも違う。分析の結果、子ども自身に生きる力が必要であると思っている。大きな学校で人との関係に適応できない場合でも、ICTが得意で生きがいになればいい。そうしたプログラミングができる環境も来年度から整備をする。教育支援センターも、あらゆる子どもを受け入れるよう強化していきたい。
262	○最初の統合計画では、吾桑小学校と南小学校と多ノ郷小学校が統合する計画であったが、吾桑小学校が残っている。令和8年度の推計でも59人で、1学校54人にかろうじてかかっている。なぜ残っているのか不思議だ。	○1学年9人以上、1学校54人以上整えば学校を残すという小学校の基準を決めた。その数字に基づいて判断している。ただし、説明でも触れたが、今残るから将来にわたり残るのではなく、子どもが減少し基準を下回る場合が続く場合は、その学校は統合されるということで理解をお願いしたい。
263	○吾桑小学校も多ノ郷小学校と統合する可能性はあるか。	○将来的にはなると思っている。
264	○吾桑小学校の特認校の指定は何年くらいあるのか。	○当面、3～4年にわたって取り組み状況を確認したいと思っている。
265	○特認校は申請すればずっと続くのではないか。	○実際、効果があるかどうかである。必要な資料を提出してもらい、高い教育効果を残せるかどうかを確認したい。

須崎市小中学校統合計画説明会での意見・質問と回答内容

No	発言内容	回答内容
266		○市としては、まず中学校の統合をさせていただきたいと思っている。令和3年度の南中学校は生徒数が13人で2クラス、教員は6人しか配置をされていない。子どもたちの学習保障という意味では迷惑をかけている部分があると思っている。その後小学校の統合になるが、令和10年度であり、その際の児童数によるので状況も変わってくると思う。いずれにしても少子化が進んでいるので、いつまでも小さい状況で学校が残り続けることは非常に厳しいという状況は認識させていただきたい。どこかで子どもたちの教育のために判断をいただくことが必要となってくる。今後も色々な機会に話をし、理解いただくよう取り組んでいく。
267	○朝ヶ丘中学校の現状について、どんな教育課題があるのか。発達課題とか、どのような取り組みをしているのか。そこに浦ノ内中学校から参加させてもらう形なので、朝ヶ丘中学校の素晴らしい特色を聞きたい。	○いつでも結構なので学校を見てほしい。朝ヶ丘中学校の子どもたちは素晴らしい学校生活を送っていると自信を持っている。
268	○小さな学校は、学力テストは低いのか。朝ヶ丘中学校の学力の課題はないのか。	○課題が一切ないのかと言えば、200人近くの生徒がいる集団なので、当然様々な課題があり、不登校もある。学力が高いかどうかになると、全国的な課題であるが、学力の二極化が進んでいる。できる子どもはすぐできるが、様々な課題を抱えて学習に向かえない子どもも、少なからずいる。そうした家庭の子どもは総体的に低い傾向がある。これは朝ヶ丘中学校だけではなく、この学校でも見られる。
269	○不登校問題について、朝ヶ丘中学校は子どもたちにどのようにしているのか。学校が大きくなったら様々な課題が出ると心配する。	○各学校で不登校はある。大小は関係ないと認識している。生徒数が多くなると、不登校の発生率も総体的に数値は大きくなる。学校により不登校の率は違うので、小さいから良い、大きいから悪いというものではない。
270	○現状でどれ位いて、どのように取り組まれているかを教えてほしい。	○正確な数値を持っていないので申し上げられない。場を改めて答える。手立てについては子どもの実態に応じて、様々な形で専門家の力も借りながら支援をしている。
271	○どういう考えよりも、現状をしっかり教えてほしい。浦ノ内中学校が朝ヶ丘中学校に統合されるという立場なので、どういう現状でどういう学校かについて話を聞きたいというのは普通ではないか。資料がないという回答なので、答えなくてもよい。	(意見として聞きました)
272	○浦ノ内地区の説明会では、はっきりした話ではなかったが、統合に関して「統合準備委員会」を立ち上げると説明されたが「統合準備委員会」とは何か。	○「統合準備委員会」は、統合を進めていくために必要な事務作業や、決定すべき事項、検討すべき課題があるので、検討し整理するための会である。
273	○「この後そうやって進める」とは説明しなかった。他の地域の説明では「統合準備委員会を立ち上げたりしながら…」と言ったが「立ち上げます」とは言わなかった。そんな予定があるのか。統合を前提ではなく、教育を課題として自由に話し合えるようにしてもらいたいという意見があったが、聞いていないか。「統合準備委員会を立ち上げる」という説明は他の所ではなかった。	○基本的に同じ内容で説明している。

須崎市小中学校統合計画説明会での意見・質問と回答内容

No	発言内容	回答内容
274	○していない。していない。委員会を立ち上げて進めるとは説明していない。質問をされて答えて、なんで統合委員会なのか。という話のやり取りはあったが、説明の段階ではなかった。	○全ての会場に来られているのでご存じだと思う。この話は吾桑公民館で出た。保護者から、「説明があまりにも足りないの、もっと説明をすべきではないか」という意見をもらった。市教委は、「特に通学に関しては統合準備委員会を立ち上げて皆さんの意見を聞きながら作り上げていく」と答えたが、保護者から「最初からないので、賛成も反対もしにくい」との意見があった。市教委としては「統合準備委員会」と考えていたが、吾桑の保護者からは「統合をのけて、たくさん意見を言える会にすればどうか」との話があった。「準備委員会があるなら早く立ち上げたらどうか」「その話も説明会ですればどうか」との意見もあったので説明会で触れている。
275	○資料8ページについて、年数が西暦になっている。その他の資料は和暦であるので、和暦も入れると見やすいと思う。資料のグラフがなだらかであり、あまり人口が減少していないように感じる。数字を見ると大きく減少していることが分かるが。	(意見として聞きました)
276	○須崎中学校の制服について、40年ほど前には女子生徒の制服は「テトラ」のみの取り扱いだったが、いつの間にか「ウール紺」との2種類になっていた。しかし、「ウール紺」の指導がなく「テトラ100%」の制服しか入らない。以前は全ての店で同じように制服を取り扱っていた。他の店は2種類取り扱っている。中学校やメーカーにも話をしたが、うちの店だけ1種類しか取り扱いできない。学校へのチラシに「〇〇学生服」の名前を載せるなど言われた。営業している以上は平等に扱ってほしい。1店ではサービスも減る。2~3店必要であると思っているが、1店が独占では成り立たなくなる。	○いつから入らなくなったのか。 ⇒4~5年前。客に言われて「ウール紺」の生地のことを知った。
277	○今後、説明会が終わると、「統合準備委員会」を立ち上げると言ったが、誰が立ち上げて、誰が参加するのか。委員会を立ち上げる前に、各地域の様々な意見が出ている。説明会が十分でない。もっと地域に入ってほしい、参加者が少ない、参加しているのは計画について疑問や反対を訴えている人。	○一通り、各地区の説明が終われば、いただいた意見を踏まえて、今後の進め方について検討していきたい。
278	○説明会の趣旨は、説明をして理解を得ることが基本であると思う。理解を得るためにもっと話をしてほしい。地域に入って語ってほしい。今の進め方には私は反対である。なぜなら、学校や子ども、教育について語ってくれないからだ。地域の人と一緒に課題を語り合って計画するならわかる。学校を盛り上げていこう、作っていこう、支えていこう、という思いで、各地域でたくさんの方と話し合い、計画を推進する、計画を決定すべきだと思う。	○「統合準備委員会」については保護者から意見をいただいたので、その形も含めて、今後どのように進めるかを検討していく。
279	○「統合準備委員会」は何をする所か。統合を進めるための準備ですよね。それをやるというのか。	○統合することも含めて、課題を整理していくということ。
280	○「統合しない」ということも含めるのか。統合をやめるということもあるのか。	○現時点ではそういう認識はしていない。
281	○「統合準備委員会」の話だ。「統合準備委員」は資料に言葉にもなっていないが、そうやってやるということは、統合は決まっているのか。	○この計画で進めたいと考えている。

須崎市小中学校統合計画説明会での意見・質問と回答内容

No	発言内容	回答内容
282	○それを前提に「統合準備委員会」を立ち上げるということか。	○はい⇒わかりました
283		○学校統合について、義務教育については、それぞれの立場で様々な意見があることは承知している。大きく変化する時代の流れの中で、将来活躍する子どもたちのために、どういう教育条件を整えていくということが私たちに課せられた課題なのか、を真摯に考えた結果の統合計画と考えている。理解いただけるよう、今後も説明に努めていきたい。引き続きご理解、ご協力をお願いする。
284	○今日で市内全域の説明会が終わる。市教委の皆さんに敬意を表す。説明を聞いて1点疑問がある。資料に「地域で育てる学校」という美辞麗句、実態のない言葉が書かれている。この場合の地域とはどのように考えたらよいか。須崎市と言う意味か。	○もちろん須崎市と言う意味であるが、それぞれの地域に子どもたちが入って学習をすることを仕組んでいきたいと考えている。
285	○そうすると、安和と新莊を上分小学校に統合した時に、安和小学校の子どもたちの地域は上分になるのか。安和の子どもは上分で学ぶのか。安和の子どもが安和の地域を学ぶ機会はないのか。	○安和の子どもたちが安和で学習することも考えていくということである。
286	○安和から上分へ行く。日中全ていない。どのような地域を知る学習を想定しているか。「地域で育てる学校」は学校が主体でしょ。地域が主体とは書いていない。「地域で育てる学校」を作るわけでしょ。学校が主体でしょ。地域が主体になっていない。皆さんどうか。(そう思います)	○学校から、地域行事に参加する手立てを講じるということ。
287	○地域に住んで、地域の人と触れ合ってこそ、地域の力である。育てていくということである。学校が変わり、朝から晩まで上分に行く、安和にはいない。触れるのは日曜日くらい。そんなことでは地域と触れ合うと言うべきではない。(学びは学校だけではない)	○小さな単位での地域から子どもたちがいなくなっている。子どもたちは学ぶために学校に行く。学びは学校だけではないが、基本的に学力は学校でつける。子ども同士の集団によってつく学びもある。学校は算数、国語を教えられるだけでなく、集団でいることで他者との違いや多様性を学ぶ。集団活動を通して協力しあうことを学ぶ。複式学級になり、1学年が1人、2人が続いってきた時に、集団活動で学ぶ所に支障が出るので、統合をお願いしたいというもの。「地域で学ぶ」という点であるが、子どもたちは地域から通い、地域に帰ってくる。地域のことを全く考えないことはないと思う。地域の伝統行事や祭り、地域の行動もある。自然もある。子どもたちが育った環境として子どもたちにあるので、学校が変わったからと言って、安和のことが全く興味がなくなる訳ではないと考えている。コミュニティ・スクールという制度がある。各地域に入っただき、子どもたちの総合的な学びの中の地域課題などを一緒に考えていただきたいと思っている。

須崎市小中学校統合計画説明会での意見・質問と回答内容

No	発言内容	回答内容
288	○大きい学校を作れば子どもの学力が伸びていく、子ども同士が良くなるというバラ色のような説明があった。私は小さな学校ばかりであった。40年で9校に赴任したが、残っているのは4校、5校は統合で無くなった。最後は大野見の北小学校であった。その当時、第2中学校が無くなる時に、本当にPTAも地域も何日も会をした。小学校教員も行ったが意見を述べることはできなかった。夜も11時までやった。ずいぶん会をしたが、結局中学校は無くなった。小学校も子どもが減り、地域の人も何とかして学校を残したいということで、教育委員会も含めて色々工夫をした。山村留学で子どもを呼ぶことや、地元の会社社長が人を呼び込んで子どもが増えたこともあった。結局は子どもが減り、私の退職後にその学校も無くなった。学校は地域の核である。核が無くなると地域が寂れる。こんなにも寂しい地域になるのかと思う。	○須崎市は全てが小規模で、極小の部分をどうにかしたいということで、マンモスを作るものではない。マンモスにもならない。小さくて環境がいい位の学校になるというイメージである。
289	○タブレットの話があったが、どんなに山奥でも世界中と繋がることができる。それを活用すれば小さな学校でもたくさんの中で学べるのではないか。	○小さくでも世界と繋がれるということはその通り。学校もタブレットが入ったばかりで教員も勉強していく必要がある。学校の中で「チーム学校」として先生方も不安がないようにしていかなければならない。何よりも学校が変わろうとしている。
290	○自分は小さな学校ばかりであったが、子どもたちが伸びなかったのかを考えたが、そんなことはない。北小学校も複式で小さな学校であったが「小砂丘賞」の作文で最優秀賞や優秀を取る子どももいた。小さな学校だからこそできたと思う。1・2年の複式担任の時、日記を書かない児童がいた。原稿用紙4枚に書く時も小さな学校だからできた。小さいから教師の目が届く。大きな学校は切磋琢磨できることもあるだろうが、マンモス校になると果たして教師の目が行き届くか、と心配する。ハイテクの時代に、小さくても世界と繋がることもできる。何も大きな学校でなくてもできることはあると思う。	○小学校でも教科担任制ができることとなっている。色んなことが変わっている時であり、今できる最小限のことをさせていただきたい。
291	○先程は、実践に基づいた素晴らしい学習観、教育観であった。単に多いからどうだ、少ないからどうだ、教育は数の問題ではない、ということが何故わかっていただけないか、と思う。学校は教育の場、人格形成の場である。それ以外に学校の機能はどういうものがあるかを教えてほしい。教育、人格形成以外に学校の持つ役割は何か。	○仰る通り、学力を身につけ、人格を形成していく場である。ソサエティ5.0という時代が来た時、学ぶことも変わってくる。人格は道徳教育や人権教育など非常に大事な教育がたくさんある。それは不変のもの。子どもたちを取り巻く環境が変わっている、産業が変わっているの、学びも変わっていると説明をさせていただいた。
292	○文部科学省の手引きにこう書いてある。学校が多様な側面、防災拠点であり、放課後、土日曜日の活動拠点、地域における文化、スポーツの活動拠点、地域コミュニティの精神的支柱という側面を持っている。この学校の側面を地域から奪うことになる。そんな無謀なことができるか。学習論、教育観、それも大事。しかし、学校が地域からなくなるといふ弊害を考えてもらいたい。	○申し上げているのは、将来的に子どもが減少していくことであり、結論として極論を言うと、地域から子どもがいなくなるという危険性がある。そうした中で学校がどうあるべきかを議論してきたうえで、少なくとも最低限の教育環境を担保できる学校規模にしていきたいと判断をしたものである。
293	○「学校適正配置計画」は、教育委員会は原案をある程度作ったうえで、有識者やPTA、地域の方に入ってもらったのか。	○そうです。
294	○その際に、安和、新莊、上分、須崎など、各地域の住民が入っていたか。	○地域の代表の方もPTAの代表の方も、様々な立場の方が入っていた。

須崎市小中学校統合計画説明会での意見・質問と回答内容

No	発言内容	回答内容
295	○各地域から満遍なく人選したか。	○全ての地域からということではない。
296	○人選の根拠は何か。招集した人の知り合いという解釈ができる。皆、仲間である。	○関係する方々の代表、地域住民の団体の代表、等々である。
297	○「学校適正配置計画」は、平成26年度に策定されている。その1年後、平成27年1月27日に「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引～少子化に対応した活力ある学校づくりに向けて～」が文部科学省から出されている。この手引きをどのように活用されたか。策定後に、この手引きを受けて、もう一度会合を持ったか。	○持っていない。
298	○手引きを全く無視した、という解釈でよいか。	○無視というわけではない。委員の選択についても仲間を選んだということではない。
299	○手引きを受けて会合をやってなければ、何のための手引きなのか。ということになる。だったら分かる。手引きを見ていないということで、こういうとんでもない統廃合計画が出されたということが。この手引きは47ページにわたる。その中で多く書かれている文言が「地域コミュニティ」である。それ以外に、第1章「学校規模の適正化が課題となる背景」では、「保護者や地域住民と共通理解を図りながら」という文言がある。さらに、「地域住民の十分な理解と協力を得るなど「地域とともにある学校づくり」の視点を踏まえた丁寧な議論」とある。第2章では、「保護者や地域住民と丁寧な対話を通じて合意形成を図りつつ」という文言もある。第3章では、「保護者や地域住民と危機意識や課題認識、将来ビジョンを共有するプロセスが重要となります。特に、統合によって全く新しい学校づくりを行うような場合は、保護者や地域住民が新しい学校に何を望むのか、十分な対話を経て新しい学校の教育目標やカリキュラム編成,,,」とある。さらに【地域の拠点機能の継承】では「当該学校と地域住民とのつながりや、当該学校が持っていた多様な機能をどのように地域社会において維持・発展させていけるのか等について、丁寧な議論を行っていく必要があります」とある。このプロセスが感じられない。さらに、全国の取り組みの中では、「①地域や保護者の代表に検討委員会の委員として参画してもらう」、「②検討前や検討の途中で保護者や地域住民のニーズや意見を聴取するためにアンケートや公聴会、パブリックコメント等を行う」とある。パブリックコメントは行っているが、これは文部科学省の言う検討前は検討途中ではない。検討し終わった決定事項です。さらに「③アンケートを行うに当たっては、学齢の児童生徒の保護者のみならず、就学前児童の保護者や子育てを予定している世帯の意向も適切に把握する」とある。地域の意見を大事にし、保護者の意見をもっと聞いてやれと書いている。この大事な手引きを読まずに策定し、そのまま7年後まで引きずっていく。時代離れしていないか。	○意見は賜った。そうしたことが書かれていることは承知しているので、今、説明し、保護者やPTAの皆さんにも説明し意見を伺っている所である。さらに、持続可能な地域づくりについては、学校だけが担えるものではなく、市としては地域の持続性を高めていき、地域の活力を高めるために「地域自主組織づくり」を推進している。
300	○説明会なので、もう少し具体論を言ってもらいたい。「行っています」と言われても、何が行われているのか分からない。説明会なのでそれで納得してくれと言われても、納得できない。何をどのようにするのかを具体的に言ってくれないと説明会にならない。	○こうして説明し、意見を伺っている。
301	○地域で何ができるのか、何をしようと計画しているのか。	○地域自主組織づくりである。

須崎市小中学校統合計画説明会での意見・質問と回答内容

No	発言内容	回答内容
302	○どのように作るのか。	○それは統合とは別なので、別の場で申し上げるが…
303	○統合とは別ではない。学校が無くなる訳である。地域が寂れないようにするという発想である。統合と切り離してできる話ではないのではないか。	-
304	○地域は学校が核である。学校が無くなると地域そのものが無くなっていく。学校があるから皆がまとまっている。私の最後の学校も、学校があることで地域が一つになった。今「開かれた学校づくり」と言っているが、当時は開き放しであった。学校のことであれば、皆が集まってきた。マンモス校が今どうなっているか。いろんな問題を抱えている学校が多いと思う。また先生も忙しい。これで子どもの教育ができるのかと思う。数だけでやるのはおかしと思う。それを補うものがたくさんある。タブレットでも繋がる。英語教育と説明があったが、日本人なら日本語、国語が大事。何かと言えば英語、グローバルと言う。須崎市の小中学校が1つになるのでもいいのか。	(意見として聞きました)
305	○なぜ安和の住民が統合に反対しているか、ということである。地域と繋がりたい、子どもと繋がりたいから、頑張って統合に反対している。安和の喫茶に行った時に、夕方子どもが連れ立って帰る。須崎では子どもが減ったので見かけなくなり寂しい。朝のラジオ体操にも子どもが減ったので来ない。来たらよく来たね、元気でやろうねと声もかけるが、子どもが減ったので段々とそうしたことも無くなっている。地域と繋がらなくなっている。その辺りも考えてほしい。子どもはどう思っているのか。孫がいじめで登校拒否になり苦しんだ。子どものことを思っていない教育をしている。楽しく学校に行けないということだ。学校は楽しくないといけない。その点を考えてほしいといつも思っている。	(意見として聞きました)
306	○学校統合について、PTAや各地域に説明したと聞いたが、反対者が多かったのではないかと思う。多くの人が統合に反対しても、見直しをしない、統合を実施するとすると、今日の説明会は何のために開いたのか疑問に思う。市政懇談会でも話を聞いたが、統合に関連する説明はないか。例えば通学路の安全の面、スクールバスの配置の問題、廃校となった学校施設の利用計画など。統合の問題だけでなく、関連する問題として具体的な説明がないと、学校統合について述べてもダメではないか。市長は、市民の声を聞いて行政に活かすとよく言われるが、学校統合と併せて関連する事項を説明して、市民にこうした方がいいか。と意見を聞いて、学校統合をどうするかを進めることが大事ではないか。行政や議会だけで決めず、学校統合は市内全域に関わる重大な問題であるため、市民が納得がいくような説明会を開いて、学校統合についてはっきりさせるべきではないか。今の段階では、私は賛成できるものではなく、反対を貫きたい。総合的な問題をはっきりさせてもらいたい。保育園の統合の時、須崎保育園の跡地は交流ひろばや避難施設はできたが、西部保育園の建物は10年近くになるが、そのまま放置されている。これを見ても学校統合を先にやり、後からどうすると言っても、納得できない。はっきりと説明してもらいたい。	○そうした意見を参考に、今後進めていきたいと考えている。

須崎市小中学校統合計画説明会での意見・質問と回答内容

No	発言内容	回答内容
307	○考えて計画を見直すこともあり得るか。市民の声を聞いて、統合について検討すると教育長は言えるか。だから、おかしいと言っている。実際、統合はいつやると決めておいて、説明会で市民の声を聞いて参考にするという言い方はおかしいのではないか。市民の声を聞いて参考にするのであれば、白紙に戻して検討すべきではないか。	○統合計画(案)を示してパブリックコメントをして、それを踏まえて修正したものを、現時点で計画としている。現時点ですぐに見直す考えは持っていない。
308	○パブリックコメントも反対の声が多かったと聞いている。その辺りの考え方はどうなるのか。	○その意見も踏まえて、現在の計画を策定したものである。今後も理解いただくように努めていく。様々な意見があることは承知している。今後の学校教育の在り方を考えた時に、必要な教育条件の整備として、学校統合を進めるべきだと判断している。
309	○地域の声としては、学校統合を実施するのであれば、市内全体の問題も併せてやらなければならないのではないかと。南地区で仕事をよくするが、南地区は小学校も中学校もなくなる。運動会も地域住民が前日から力を合わせて盛り上げている。子どもたちに寂しい思いをさせたらいけないという思いがある。それが無くなると、南地区は寂れてくると思う。南地区の問題として学校を利用するのか。統合と併せて説明をしないと市民も納得がいけないのではないかと。	○そういう指摘を踏まえて、今後の取り組み方を検討していきたい。
310	○説明を何回か聞かせてもらった。賛成でも反対でもない。児童生徒が多い少ないではなく、学が本人の問題である。説明もあったが、言われていることもよくわかるが、行政は、新荘、安和、上分が一緒になる意味をかみ砕いてわかり易く説明すべきではないか。安和地区は普通に行けば須崎の方が近い。なぜ上分に行くのかをわかり易く説明し、お願いしますと頭を下げるべきだと思う。	○最初に示した統合計画(案)では、安和、新荘は須崎小学校へ統合するものであった。しかし、市民の皆さんから「津波浸水が心配される学校に統合されることは納得できない」という意見があったので、上分への統合でその懸念を克服するという事で、計画の見直しをした。
311	○安和が須崎に統合できない理由が津波の関係となると、須崎小学校の子どもたちは構わないのか。矛盾していないか。	○須崎小学校は、後ろに避難場所がある。
312	○そうすると、安和小学校が来てもいいのではないかと。	○保育園が上分に行っていることもあり、その計画になっている。
313	○そういうことをはじめの段階で説明しあげないと、来ている人もわからない。かみ砕いて誰にも分かる説明をして、お願いをするべき。そうすれば皆が納得する訳でもないだろうが、もう少し考え方が変わってくるのではないかと。やりあいをしても仕方がない。行政が親切丁寧をお願いして頭を下げなければいけないのではないかと。	○その点については、今後とも十分気を付けて説明し、お願いをしていきたいと思う。
314	○地区の説明会は今日で終わりになる。この後はどういう流れになるか。	○今後は市政懇談会でも話をする。
315	○それでは皆、納得しないと思う。ここまで大きくしなくてもいいかもしれないが、納得いかない人に対して、もう1回話をする機会を作られたらどうかと思う。資料7ページのきれいごとの説明に対して、今日も突っ込まれている。	○OPTA、保護者会とも、地域でいただいた意見を踏まえて話をしていきたいと考えている。

須崎市小中学校統合計画説明会での意見・質問と回答内容

No	発言内容	回答内容
316	<p>○津波に関わって、須崎小学校、須崎地域に学ぶ子どもたち、その命を大事にしようという視点を感じられない。統合計画(案)が出てから、多ノ郷から上分へ車で通った。若干のガードレールのような縁石はあるが、所々、昔の縁石のため低い。俳優・風見慎吾氏のお子さんが交通事故で無くなった時のコメントは、「行政の方、一度通ってみてください」という悲痛なものであった。簡単に学校をまとめる、廃校するだけではない。子どもたちの命を守るのが、地域住民であり、その先頭に立つのが教育委員会、行政ではないか。あの道は街灯も整備されていない。そういうこともないままに推し進めようとする。統合したらすぐできるか。国道、県道であり市道なので、整備には時間がかかると思う。全てを明らかにし、「これで大丈夫」にならないと、納得できない。</p>	<p>○私たちの責務は、子どもたちの命を守り、健全に育てていくことであることは、十分肝に銘じている。そうした指摘、懸念をきちんと解決できるような形で取り組んでいきたいと考えている。</p>
317	<p>○須崎小学校は避難場所があるという説明があった。須崎中学校は津波が来るので統合するという説明であった。須崎中学校には岡本に山がある。その山に避難できる施設を作ってほしい。行政として、学校にいる時に津波が来たとなった場合に、すぐ山に避難できる施設を作って、安心できる学校にしてほしい。説明が言い訳ばかりである。出された意見を持ち帰り、計画の見直しをしてもらわないと、何のために集まったのかということになる。中学校5校を1校にすることはおかしい。須崎中学校は津波で統合するという説明しかなかったが、それならば津波対策をしてもらいたい。</p>	<p>○旧須崎高校が理由の一つとして統合された中で、中学校だけを残しているのか、ということを大事に考えたものである。</p>
318	<p>○子どもが減ったというが、行政の責任でもある。なぜ減っているのか。増やすためには移住も考える必要もある。行政が手立てをしなればいけない。住宅整備もすれば人口も増えると思う。</p>	<p>(意見として聞きました)</p>
319	<p>○高校は、高台に統合する学校があった。中学校は5校を1校にするということであり、須崎中学校は津波のことを考えてのことであると思う。それならば、津波が来ても安心できる施設を近くの山に作ってもらいたい。そうすれば統合する必要がない。</p>	<p>○そうした指摘をいただいたということで、今後検討していきたい。</p>
320	<p>○検討してまいりますとよく聞かすが、今日も色々意見が出た。持ち帰って、統合について検討して見直しをすると受け取って構わないか。</p>	<p>○現時点で見直す約束ができと思っているが、そうした意見を踏まえて市民の皆さんに納得いただけるように取り組んでいきたいと考えている。</p>
321	<p>○答弁が国会と一緒にだ。皆が一生懸命言っていることを見直してもらわないと、市民は納得がいかないと思う。行政にいたので言いにくい、意見を含めて見直すと言ってもらわないと、皆、納得がいかない。</p>	<p>(意見として聞きました)</p>
322	<p>○何のために集まったのか。意見を言いたいから集まった。それを受け取ってくれないと意味がない。</p>	<p>○様々な意見をいただいた。この意見に対して、どのように答えていくのか、持ち帰って検討していきたい。</p>
323	<p>○検討結果は私たちに返してくれるのか。返してくれないと分からない。</p>	<p>○各地区で意見をいただいたので、整理をして何らかの形で公表したい。</p>

須崎市小中学校統合計画説明会での意見・質問と回答内容

No	発言内容	回答内容
324	<p>○各地域での話し合いで、住民は賛成だったか。納得したか。孫も中学校に行く年齢ではないので、統合を経験したことを話してみたいと思っ出てきている。説明を聞くと、統合ありきで進んでいき、市民に説明し、こんな意見もあったということを知いておいたら事が済みそうという感じがする。役所は罪をかぶらないようにしている感じがする。教育は数だけではないことを力説しておきたい。各地域が中学校1校で承知するか。私なら座り込みをしてでも反対する。ぜひ検討してほしい。</p>	<p>○行政が責任をかぶらないようにやっているということは違っている。子どもたちの教育を考えるのは公平な立場であるべきだ。地域のために残したということは良いことかもしれないが、逆に、子どもたちにとっては同級生もいないかもしれない。そうしたこともある中で、教育的観点から、教育委員会として責任をもってやっている。それがおかしいという意見は本日、たくさんいただいた。昔と今は色々違っている。複式学級を否定したり、小規模がダメと言っているものではない。小さな学校にあるリスクをなるべく無くしたいというもの。先生や地域が助けてくれることもあるが、子どもたち同士で切磋琢磨し、自分と違う個性に触れ、成長する部分もある。あくまでも、子どもたちの状況を考えてやらなければならないとして計画している。</p>
325	<p>○昔と今の教育はそんなに変わらない。「江戸の教育力」という本を読んで、江戸時代の教育は良かったと思う。もちろんおかしな面もあるが、そんなに変わらない。昔の教育が良かったというのはおかしい。</p>	<p>○教育の本質は一つであると思う。昔が古く、今が新しいということではない。例えば、ソサエティ1.0の時代、狩猟時代や農耕社会の時にPCやタブレットは必要ない。社会が変わってきたときに、社会に合わせた教育をするというのが文部科学省の考え方である。その文部科学省が地域を大事にしろということもその通りであるが、今行うべき教育の内容を、この学校ではできるが、あの学校ではできないということを無くしていきたいと思っている。責任逃れではなく、逆に責任をとろうとしている。理解願いたい。</p>
326	<p>○地域の子どもを守るのは、年寄りでも守りたい。孫を、子どもを。</p>	<p>(意見として聞きました)</p>
327	<p>○各地域、PTAの意見については聞き流しではなく、このような意見があり、行政として対応しているということを広報に出してもらいたい。検討しますと言ったが、聞き流しでいつの間にか統合されていたとにならないようにしてもらいたい。</p>	<p>(意見として聞きました)</p>
328	<p>○教員にとって、一番の悩みは何だと思うか。アンケートをよく見てほしい。学校はブラック企業。その中で教育に使命をもって一生懸命、粉骨砕身で仕事をしている。最も悩んでいるのは、子どもとの接する時間が少ないということ。事務的なものを軽減し、教育、子どもと直の触れ合いをしたいということ。だから1学級を多くするよりも、子どもと教員が触れ合える学校、複式学級で教員が負担であるならば、須崎市単独で複式学級を解消するという先進的な日本のモデルにならないか。</p>	<p>○制度上、須崎市が教員資格を持った人を雇用して授業をさせても、それは県教委が認める正式な授業にカウントされない。それが制度となっているので理解願いたい。</p>
329	<p>○教育委員会も立場があってやっているが、意見をもらった関係上、反対の立場になって考えてみてほしい。そうすればわかると思う。私たちも教育委員会の立場でも考える。逆の立場で計画の見直しも考えてみてほしい。</p>	<p>(意見として聞きました)</p>